

第

13

回

テーマ

リ・ユニオン

新たな結び合い

# 東京玉翠会

とき

平成7年7月1日(土)  
午後5時～7時30分

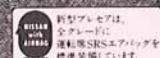
ところ

東京プリンスホテル  
鳳凰の間

# 自由でいいなあ。



PHOTO: プレセア100GCL II (マイシナルロードバイブル) カーナショナル



お問い合わせは、  
セナーローレル各販売会社へ(一部地域を除きます)又は右記のお客様相談室までお気軽にお問い合わせください。  
（主要装備）◆エンジン型式：SR18DE◆最高出力：123PS/6,000rpm(ホンダ)◆最大トルク16.0kgm/4,000rpm全速×全幅×全高：4,480×1,695×1,325%◆OD付オートマチック(ローフィブリード)  
◆運転席SRSエアバッグを標準装備しています。

お問い合わせは、  
セナーローレル各販売会社へ(一部地域を除きます)又は右記のお客様相談室までお気軽にお問い合わせください。日産自動車お客様相談室 全国共通・フリーダイヤル 0120-315-232

(東京玉翠会第13回総会テーマ)

## リ・ユニオン … 新たな結び合い …

同窓会のことを英語では、「Reunion」と言うそうです。その語源を考えてみると、一度別れた仲間が久し振りに集まり、団結し、仲間意識を再結成するというイメージがあります。

東京玉翠会は、高松中学と高松高等女学校と高松高校の卒業生の同窓会ですが、高松の同じ地、同じ校舎で学び、いま故郷を離れて近くに暮らす仲間として、学年・世代の違いを超えて、新しい結び合いの輪を築いていきたいものです。

かつて、高松中学と高松高等女学校と高松高校の同窓会は別々に開かれていましたが、それが合体して、東京玉翠会総会として開かれるようになって、今年で13年目になります。干支は十二支ですから、13年目ということは、二回り目の新たなステージに入ったと言うこともできるかと思います。二回り目に入って、形式だけでなく実質的にも一体化し、結び合って、旧同窓会の区分を超えた交流を強化していくものです。

のために、年に一度の総会・懇親会の開催にとどまらず、そこでの出会いを契機に、一步進めて、例えば、趣味等を同じくする者同志が、年代・世代を超えて新たに結び合い、同好会的な活動を行う、そのような同窓会活動も考えられてよいのではないかでしょうか。

以上のような諸々の意味を込めて、今年のテーマを「リ・ユニオン…新たな結び合い」としました。ご出席の皆様なりの「新たな結び合い」の輪が広がることを念願しております。

# 目 次

## 哀悼・お見舞

去る1月17日の阪神・淡路大震災により亡くなられた方々に対し、心から哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。併せて、一日も早い復興を祈願いたします。

## 東京玉翠会

(阪神・淡路大震災の被災者の方々への義援金の募金を総会会場で行っていますので、ご協力をお願い致します。なお、集まった義援金は、「兵庫県南部地震災害義援金募集委員会」に贈ることとしています。)

テーマ	
哀悼・お見舞い	
式次第	4
平成6年度収支計算書（監査報告）	5
ごあいさつ 玉翠会会長	大西 潤甫 6
高松高等学校校長	松橋 飲秋 7
東京玉翠会会長	宮井仁之助 8
【特集① 香川の教育はいま】	
教育改革あれこれ	香川県教育長 田中壮一郎 10
大学教官への道	西條 辰義 12
未来からの留学生を預かる	谷本 修一 14
赤い目薬を売るにはどうしたらいいか	平尾 勉 16
教師がかわらなければ	湯浅 久子 18
データで見る香川の教育	20
【特集② 母校の思い出・私の近況】	
戦後50年特別座談会 戦時下の青春 ～あの頃も輝いていた～	
高松高等女学校昭和19年卒有志座談会	22
対岸へのこだわり	佐野 宏哉 30
スクウェアダンス	林 正慶 32
1997年7月1日	植松 修三 34
インタビュー～歌に生き愛に生きる～	林 康子 36
箱根路を思う	藤井 一博 46
【特集③ 実用／東京さぬきマップ】	48
【各地の玉翠会だより】	
関西玉翠会の現況	岡 健 56
岡山玉翠会の現況	入船 健一 58
徳島玉翠会の現況	松浦 健司 60
東京玉翠会 ゴルフコンペ開催報告	62
校歌・校友会の歌など	64
東京玉翠会会則	69
東京玉翠会役員名簿	72
東京玉翠会高中部会・晩翠部会・高高部会幹事名簿	74
第13回東京玉翠会総会幹事を担当して	83
寄贈図書目録	84
物品寄贈会社	85

式 次 第

一、開会の辞

一、黙祷（阪神・淡路大震災）

一、東京玉翠会会長挨拶

一、議事

1. 報告事項

(1) 会計報告

(2) 監査報告

2. 審議事項

役員改選

一、来賓紹介

一、来賓挨拶

高松高等学校校長

松橋秋秋先生

玉翠会会长

大西潤甫氏（昭和17年卒）

一、乾杯

香川県知事

平井城一氏（昭和15年卒）

一、懇親会次第

1. 女声コーラス

2. 母校図書購入資金贈呈

3. お楽しみ抽選会

4. 次回総会担当幹事（昭和47年卒）紹介

5. 校歌・応援歌斉唱

一、閉会の辞

平成6年度収支計算書（案）

自 平成6年4月1日  
至 平成7年3月31日

東京玉翠会  
会長 宮井仁之助

<特別会計>

支出の部		収入の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
会場使用料	7,166,394	総会出席会費	6,300,000
会場運営費	1,390,000	男性 450人	
総会準備費	2,080,961	女性 265人	
母校寄付金	150,000	寄付金収入	210,000
プログラム制作費	1,287,500	雑収入	5,571,478
一般会計へ繰入	6,623		
合 計	12,081,478	合 計	12,081,478

<一般会計>

支出の部		収入の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
支部交付金	269,500	前期繰越金	6,368,010
通信費雑費	12,954	年会費	666,000
事務用品費	2,000	預金利息	62,844
次年度立替金	850,000	雑収入	4,000
次期繰越し金	6,313,523	前年度立替金	200,000
		特別会計より繰入	6,623
		預り金	140,500
合 計	7,447,977	合 計	7,447,977

次期繰越し金

内訳 (イ)百十四銀行東京支店

普通預金 No.125044 1,368,833円

定期預金（通帳式定期）満期 7. 9. 7 1,662,079円

定期預金（通帳式定期）満期 7. 6. 14 1,145,177円

定期預金（通帳式定期）満期 7. 6. 14 2,084,596円

(ロ)手持現金 52,838円

合 計 6,313,523円

脚注 東京高中会並びに晩翠会東京支部よりの受入基金 1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

上記収支決算書について監査の結果、適正なることを認める。

平成7年5月13日

幹事 鳥羽忠臣 

同 内田信子 

同 鴨田昭代 



ごあいさつ

玉翠会 会長 大西 潤甫

本日、ここ東京プリンスホテルにおきまして、『リ・ユニオン…新たな結び合い…』のテーマのもと、第13回東京玉翠会総会が開催されますことを衷心よりお慶び申し上げます。

本年もまた、この東京の地で、皆様方と一緒にひとときを過ごすことができることは、わが国内はもとより世界の各地で今も活躍される3万余名の同窓生の代表という榮えある責務を与えられた私にとりまして無上の喜びであります。また同時に、東京玉翠会におかれましては、6千名に近い会員の皆様方が同じ母校を心に抱き、各界でご活躍のことであり、今は、身が引き締まる思いがいたしております。

先にご案内申し上げましたとおり、わが高松高校は、すでに第二世紀へとあゆみを踏み入れておる次第であります。ただ今は、年末を目途とし、学校敷地南西に莊厳なセミナーハウス及びプールを建設しているさなかであります。この竣工をもちまして、いよいよ、高松高校第二世紀の全容が完成することになります。もちろん、あの中庭の「楠」もメモリアルゾーンにしっかりと根づいております。

申し上げるまでもなく、わが玉翠会は、「人」の集いにはかなりません。高松高校の姿かたちは時代とともに変わってまいりますが、ここにお集まりになった「人」には、それぞれ思い出の「学び舎」があるものとご拝察申し上げます。姿かたちは変われど、その「学び舎」で結ばれていることが、学年・年代・世代を超えて今ここに集う我らを成し、そして、明日の新たな玉翠会員を創ることも間違いない事実であります。

本日のこの素晴らしい総会が、母校と皆様方を、さらには、東京玉翠会の皆様方一人ひとりを結びつけながら、ともに新たな未来を築き上げるよう真に願うものであります。

最後になりましたが、本日の総会開催にご尽力頂きました関係各位皆様方に厚くお礼申し上げますとともに、東京玉翠会の益々のご発展と会員の皆様方のご活躍、ご健勝を心より祈念申し上げまして、私のご挨拶と致します。



ごあいさつ

香川県立高松高等学校 校長 松橋 飲秋

東京玉翠会総会が今年もまた盛大に開催されますことは、誠に喜ばしく心よりお祝い申し上げます。また、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶びを申し上げますとともに、日頃、母校発展のために寄せられる温かいご支援ご協力に心から感謝いたし、厚く御礼を申し上げます。

昨年7月、ここ東京プリンスホテルでの東京玉翠会総会に本校職員とともに大勢がお招きにあずかり、宮井会長をはじめ、幹事の方々や会員の皆様の心温まる歓待に深い感銘を受け、時間のたつのを忘れて歓談の渦の中で、楽しい時を過ごすことができました。首都とはいえ、母校を遠く離れた地での同窓会でありますのに、参加者の多いことに圧倒されましたが、ゆくりなくも再会した喜びの歓声があちらこちらに飛びかい、同窓会の雰囲気がまことに自然に醸し出され、母校に対する熱い想いや郷愁が快く伝わってきた記憶が今も鮮明に残っています。そして、玉翠会会員の活躍ぶりから、鍛え鍛えられた本校卒業生としての矜持が確実に生きていることの喜びを強く感じた次第であります。

さて、母校では今春も玉翠会の新会員として526名の卒業生を送り、これで卒業生累計は44,820名になりました。新たに全日制400名、定時制23名、通信制53名の新入生を迎える在校生諸君は高高百余年の輝かしい伝統をしっかりと受け継ぎ、新しい世紀を拓いていくという気概をもって、学習に部活動にと意欲的に取り組んでおり、校内が活気に満ち溢れています。本校の伝統である文武両道の精神をしっかりと受け継いでおりまして、大学進学においては今年も質・量ともに優れた成果をあげ、公立高校として全国有数の実績を示してくれました。スポーツや文化活動の分野におきましても、昨年は県代表または四国代表として全国高校総体に数多くの部が出席、中でもフェンシング部は女子団体で全国高校選抜大会3位入賞を果たすなど顕著な成果をあげております。

施設整備の面では、創立百周年に合わせて10年もの長い期間をかけて進めてきた校舎等の全面改築は、屋上に水泳プールを配置した宿泊研修棟が年内に竣工することですべて完了します。全てを一新した環境の中で、校庭の大楠の如く歴史の根を深く伸ばして無限に伸びゆく活力をもった学校として益々発展させていかなければならぬと思います。今後とも先輩各位のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

終わりになりましたが、東京玉翠会の益々のご隆盛と会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げてご挨拶といたします。



ごあいさつ

東京玉翠会 会長 宮井 仁之助

東京玉翠会の年次総会も回を重ねて本年は第十三回となりました。今年も母校からは校長先生をはじめ諸先生方、玉翠会本部の幹部の方々、ほかご来賓の方々をお迎えし、東京近辺在住の多勢の同窓会の皆さんが元気な姿で集うことができますことはご同慶の至りと存じます。

それにつきましても、本年一月の阪神大震災により、5,000人以上の方が亡くなられ、また、数十万人という方が被災されたことは、心の痛む出来事でした。神戸は郷里香川県にも近く、同窓会員も多数居住されておられましただけに、罹災された方も少なくなかったのではないかと思います。その方に心からお見舞い申し上げると共に、災害地の一日も早い復興を祈ってやみません。

本年度の総会には、昭和46年卒業の方々が当番幹事として、企画や準備に非常に大きな努力をして下さいました。そのご努力に対して心から感謝申し上げます。

本年の総会のテーマは「リ・ユニオン……新たな結び合い…」というのですが、同窓会が同学年、同年代の者の集いであるにとどまらず、学年や年代を超えた先輩、後輩の親睦の場となるように、そして更なる交流、結びつきの契機としたい、という思いがこめられています。今夕は年に一回の総会の場ではありますが、どうかこのような学年や年代を越えた同窓生の交流の場としていただければと念じております。

東京玉翠会も統合、新発足してから満12年を経過し、年々その基盤を固くして盛大となって参りました。参会者の数の点では、正に日本一の在京同窓会に成長することができました。またお気づきの方も多いかと思いますが、総会のプログラムもその充実した内容からして、単なるプログラムにとどまらず、会報のような役目も果すようになりました。

このような会の発展、成長のかけには、母校や玉翠会本部のご支援、歴代の役員が当番幹事の方々のご努力、そして多勢の会員各位のご協力のあったことを忘れることができません。この席を借りて厚くお礼申し上げます。と共に東京玉翠会を更に誇るに足る「私たちの同窓会」に育てていただくよう今後とものご支援、ご協力をお願いする次第です。

最後になりましたが、母校の更なる発展と会員各位のご健康とご多幸を祈ってごあいさつとさせていただきます。

# 特集1 香川の教育はいま

特集2  
母の恩・私の恩・社会の恩

# 特集3 実用／東京さぬきマップ



## 教育改革あれこれ

田中壯一郎（昭和43年卒）

我が国においては、臨時教育審議会より昭和60年6月の第1次答申から昭和62年8月の第4次（最終）答申まで4次にわたる答申が提出され、これを踏まえ、現在21世紀に向け教育改革が推進されている。その基本的な視点は、①個性重視の教育、②生涯学習体系への移行、③変化への対応である。学校教育について言えば、知識偏重の画一的な教育から子どもたちの個性を伸ばせる、多様なそして柔軟な教育の実現を目指していると言えよう。

一方、21世紀を目指して教育改革に取り組んでいるのは我が国ばかりではない。アメリカやヨーロッパ諸国も熱心に取り組んでいる。しかし、改革の方向はというと、我が国とはかなり異なっている。

アメリカ合衆国では1983年連邦教育者の審議会が「危機に立つ国家」というレポートを提出し、「我が国は、かつては商業、工業、科学、技術革新の面で世界の群を抜き、他をよせつけなかった。それが今日、世界中の競争者に追いつかれ、追い越されつつある」という認識のもとに児童生徒の非行問題や学力低下など教育の荒廃を指摘し、教育改革を提言した。その内容は、いかに子どもたちに学力をつけていくかという観点から、国語、社会、数学、理科及びコンピュータ科学を共通必修教科（ニューベーシック）として全員に履修させることをはじめ、授業時数や授業日の増加、教員の資質の向上、教育財政の充実などである。この報告書が提出されて以来、教育改革運動が全米に広がり、ブッシュ前大統領時代には、同大統領の提唱により6項目からなる全国共通の教育目標（ナショナル・ゴーラズ）が設定された。その内容は、①貧困等の理由で学齢に達しても就学できない子どもをなくすこと、②ハイスクール卒業者の比率を90%に引き上げること（現在は約70%程度と聞いている。我が国でも高校の中途退学は問題となっているが、毎年2%程度である。）、③2000年までに合衆国の生徒の数学及び理科の学力水準が世界一となるようにすること、

④すべての学校は、麻薬、暴力、銃やアルコールを根絶し、学習にふさわしい規律ある環境を提供すること、などである。クリントン大統領になっても教育改革の方針は継承され、昨年（1994年）3月には、ナショナル・ゴーラズをはじめ教育改革を推進するためのアメリカ教育法（「ゴール2000」）が制定されている。

イギリスにおいても、1970年代以降、経済が衰退し英國病と呼ばれる事態にまでなったこともあり、教育改革の必要性が認識され、1988年7月には教育改革法が成立している。この教育改革法は、①全国共通カリキュラムの導入とその習得状況についての評価の実施、②親の学校選択の可能性の拡大と地方教育当局から個々の学校への権限の委譲、③国から直接補助金の交付を受けることのできる学校の創設（国庫補助学校、シティーテクノロジー・カレッジ）、さらには高等教育、地方教育行政等についても規定している。そして、この法律に基づき1989年には数学、理科、国語の全国共通カリキュラムがつくられ、第1学年及び第2学年に導入された。その後、技術、歴史、地理、芸術、音楽、体育、外国語についても共通カリキュラムが作成され、1996年秋から始まる学年からは、第1学年から第11学年までのすべての学年において共通カリキュラムにする教育が行われる予定である。

また、その到達度について7才、11才、14才、16才の4段階で測定することとしており、1991年5月に初めて7才児を対象に数学、理科、国語の達成度テストが実施された。そして、その結果は、各地方教育当局ごとに目標達成率が示され、その成績の順に並べた形で公表されている。

私は、香川県が3年連続学力テスト日本一を達成した時の中学生の一人であるが、我が国では大きな問題となり、とうの昔に止められた学力テストが今日のイギリスで実施され、その方法等が大きな問題となっているということを聞くと、これまで欧米をお手本と思いがちであった者として不思議な気持ちがする。

我が国は、画一性から多様化、柔軟化を目指して教育改革を進め、アメリカやイギリスは、多様性から共通性、ローカルからナショナルへ向かって教育改革が進められているように思われる。しかし、これは、それぞれ国により、共通性と多様性のいざれかに偏っていたスタンスを改め、適切なバランスのとれた教育を実現するため両端から中心に向かって改革を進めているのではなかろうか。教育行政に携わる者として、このような点も充分踏まえながら、香川の教育の充実のため努力していきたい。

（香川県教育委員会教育長）

## 大学教官への道

西條 辰義（昭和46年卒）

志望校の受験に失敗し、香川大学経済学部に入学した。大学時代はアーチェリー同好会の設立、部への昇格など、アーチェリーで明け暮れた。大学での3年間を過ごしたとき、経済学部に入学しておきながら経済学のことを全くといってよく知らないことに気づき、就職対策もかねて、高高出身の松本伊三男氏と二人で、春休みの間中、朝早くから夜遅くまで経済学のテキストを取り組んだ。高高時代ずっと理科系に属していたせいもあって、経済学の数理的な論理展開に面白味を感じた。4年生になってアーチェリー部の諸活動から引退するとほかに面白いこともなかったので、経済学の様々な分野のテキストを読むようになり、大学院入試の問題を解くのが楽しみになっていった。そんなとき、ゼミの指導教官が進学をすすめてくれた。就職しても将来はどうせ家業の園芸店を継ぐのが運命だと思っていたので、就職も進学もモラトリアムには変わりがないという訳で一橋大学の大学院に進学した。

大学院に通う傍ら、公認会計士の受験予備校で講師を始めた。経済学が会計士の試験科目になっていたからである。深夜、予備校での講義を終え、疲れた体にむち打って練習問題やテキストを作成し、早朝、原稿を印刷屋のポストに投げ入れ、夕方になるとまた講義を繰り返す毎日だった。あまりの忙しさに留学することを思いついた。当時は就職しようにも、大学院で5年以上在学しても就職口がない「オーバー・ドクター」があふれていた。就職がなければ田舎に帰ればそれまでだが、もう少しモラトリアムを続けたかった。応募した大学のうち、奨学金を出してもらえる大学の中で一番ランキングの高いミネソタ大学を選んだ。

アルバイトから逃れるつもりでミネソタにいったものの、奨学金というのは教育助手の仕事の報酬で、ここでも採点や補講をする羽目になった。しかも、最初の2年は日本の大学受験なみのカリキュラムの中で、熾烈なサバイバル・ゲームに巻き

込まれた。同級生のうち博士号（Ph. D.）を取得したのが、2分の1になっていたほどだった。4年目に指導教官が一年間カリフォニア工科大学（カルテック）に滞在することになったので、ついていくことにした。ミネソタとカルテックとでは学問上の同じ概念や定理にたいする理解の仕方が時として全く異なっているのを知り、新鮮な感動を覚えた。カルテックでは解くべき問題と共に生活をすることをはじめて経験した。食事をとっても、歩いていても、テレビをみていても、気がつくとそのことを考えている。数ヶ月が過ぎ、突然聞いてずっと考えていたある命題を証明できたと思った。あわてふためいてパソコンにむかい証明の概略を書き、指導教官に見せた。先生は1時間あまり検討した後、右手を差しだし、「コングラチュレーションズ！」といってくれた。

当時、日本では職がなかったせいもあって、アメリカで仕事を探した。アメリカ経済学会の発行する「経済学者求人情報」という雑誌をもとに各地の大学を巡り、論文を報告するのである。スポーツ選手のように各大学と待遇について交渉し、折り合ったところで手を打つ。こうしてオハイオ州立大学経済学部に職を得た。学生数6万人のマンモス大学で、オハイオ州民ならほぼ無条件で入学できる大学である。学生の質の差が大きく、分数の大小比較ができない学生から、一流校でもやっていけそうな学生まで様々であった。ここで1年過ごした後、再び「経済学者求人情報」をたよりにカリフォニア大学サンタバーバラ校経済学部に就職した。学生の質も高く研究環境もよかったです、それよりも何よりも青い空と白いビーチに囲まれたキャンパスを楽しんだ。ここで2年過ごすうちに、セントルイスのワシントン大学政治経済研究所からの誘いを受けてサンタバーバラに籍を残したまま行くことにした。

そうこうしているうちに筑波大学からオファーがあったので、日本に帰ることにした。偏差値で輪切りにされているから学生の能力は均質なのだろうと思っていたが、そうではなく、私の目から見て学問的に日本の一流校のトップ・グループの学生と互角以上に戦える学生から、どうしようもない学生までいるのを知ったのは驚きであった。

筑波では7年過ごし、この秋から大阪大学社会経済研究所に移籍する。学生の教育には携わらない研究のみの機関である。研究に専念できる最後のチャンスをなんとか生かしたいと思っている今日この頃である。

（筑波大学社会工学系助教授）

## 未来からの留学生を預かる

谷本 修一（昭和46年卒）

高高に入学したのは、もう27年も前のことになる。期待と不安を胸に校門をくぐったことが昨日のように思い出される。入学生を集めての説明会のようなものがあり、たぶん生徒指導部長だった井上勉先生（生物の名物教師）が、服装や靴についての注意をした。靴は、思い出したくもないダサイ VP シューズ。井上先生曰く、

「靴の指定をしないと、後ろ足で蹴ると地面にたつような靴を履いてくる輩がいる。そういうことのないように靴を指定するのだ。」

そういう規則はあったが、いわゆる生徒指導はあったのだろうか、と思うほど意識したことがない。つまり、何も注意しなくともみんな校則の範囲内で行動していたのだろう。

数年前、神戸高塚高校での校門圧死事件をきっかけに、校則問題がマスコミによくとりあげられた。その際、全マスコミはいわゆる管理教育批判をくりひろげ、学校、また校門を閉めた教師に集中砲火を浴びさせた。しかし、高校教師の今、その議論は、全高等学校一律にできるものではないことを強く感じる。つまり、高松高校などでは、管理的にならなくとも生徒が自主管理できるし、また、一部規則を破る生徒がいても、それが全体に波及することはない。しかし、学校によっては自主性を尊重する、などと言ったらどうなるか考えるだけでも恐ろしい高校もある。われわれが高高をベースに考えるように、マスコミの人たちも自分の高校経験（マスコミ人はほとんどが有名大学卒で、したがって有名高校卒）をもとに議論しているのではないか。現場はそんな生やさしいものではない、ということを教師になって初めて知った。

閑話休話。高高時代の話にもどる。

1年生のある夏休み中の補習日のこと。見たこともない英語の先生がやってきた。小太りで猪首、低い迫力ある声で、いきなりクラス全員を立たせた。

「今から質問をする。正解をした者から順に座ってよい。」

と言うなり、矢継ぎ早に質問をしていく。それまで習った覚えのない難問ばかり。1時間が終わるまでに座れた者は、2～3名だった。それが西村信重先生であった。みんなびびりながら、「こわい先生だな」と思った。1年生のときは、その補習の何日間か教えてもらっただけで、ほかでは全然接することはなかった。

2年生になって最初の日、担任でやってきたのがあの西村先生ではないか。恐懼と震撼の瞬間といってもよい。英語の授業はあいかわらず厳しく、それ以外のホームルームなどでもニコリともしない。しかし、だんだんわかってきたのは、生徒にとても人気や信望のある先生であるということだ。決してとっつきはよくないが、つきあっているうちに人間味がわかってきていつしか好きになる——そういう先生であった。

図書室の真裏の先生の部屋（たぶん生徒指導部の部屋）にちょくちょく出入りするようになった。全校の生徒の名簿が壁に貼ってあるのが、やはり生徒指導担当だな、と感じたことを記憶している。ヘビースモーカーで、エコーという煙草（今は見ない）をバケツを灰皿がわりにひっきりなしに吸っていた。その部屋に呼ばれて怒られたり、英語の勉強方法などを伝授してもらったりした。筆者もいつしか先生のファンになっていった。

その西村先生が先年、バイク事故で亡くなったのは残念というほかない。筆者は行けなかつたが、葬式には多数の卒業生が集まり、慕う生徒の多さを物語っていた。

今思うと、西村先生以外にも個性的な先生がたくさんいた。冒頭の井上先生、世界史の白川先生、国語の桑田先生、物理の矢野先生、数学の林先生など、職人芸な先生は、最近の高校では数少なくなった。

現在、高校の教師をしていて痛感するのは、高校生に夢がなくなったことである。それは、情報産業の発達に伴ういわゆる偏差値的な指導の徹底という側面もあるが、われわれ教師の責任もある。われわれの時代も、大学入試を強く意識していましたし、先生方もその方向で指導していた。しかし、一方で、先生に個性があったから、受験指導にも味があった。偏差値ランクがすべて拠り所という流れの中で、先生の個性も埋没していったのではないか。

今の高校生は21世紀の日本を担う者たちである。「末は博士か大臣か」ほど大時代的にならなくともいいが、偏差値ランクで人生が決まるのではかわいそうである。どこの大学に入れるか、に血道をあげるよりも、未来からの留学生を今預かっているという気持ちで教育をしていきたいと考えている。

（私立高校勤務）

## 赤い目薬を売るには どうしたらしいいか

平尾 勉（昭和46年卒）

「起立！リゼ！」教室で、内田有紀の号令に合わせて立ち上がった女子高生たちが一斉にピンクの目薬をさす。眼鏡をかけた若い教師がたじろぐ。ロート製薬の目薬「リゼ」のテレビCMである。

目薬といえば青だ。赤は充血の色であり、それを取り除く目薬には爽やかな青が似合う。目薬自体は透明でも、そのパッケージには圧倒的に青を使ったものが多かった。ところが、ロート製薬はその既製概念を逆手にとって赤い目薬を売りだしたのである。

学校では目薬は青いものだと教える。しかし、内田有紀は違う。と、この愛嬌のあるコマーシャルはメッセージを送っている。学校=青い目薬。内田有紀=ピンクの目薬。そういう図式が示されると、この新しい目薬が断然オシャレに見えてしまう。

マーケティングの用語でポジショニングという言葉を使う人がいる。消費者の中に、売り込む製品の占める場所をきちんと定めてやることである。このCMでは「オシャレな目薬」というポジションを定めるために、学校というイメージがうまく利用されている。

競争の激しい市場社会の中で色々な商品が学校のイメージをうまく使って自らのポジショニングを行ってきた。塾は「学校では進学するための学力をつけるのに不十分。だから塾に行かなくては」というメッセージを使って、明快なポジショニングを行ってきたと言えるだろう。それに引き替え、当の学校は、なんら積極的なポジショニングを行ってこなかった。「学校は社会に出て必要な生活習慣と知識を身につけるところである」というのはポジショニングという視点から見るなら、完全に空文化してしまっている。生徒は誰一人そんなことをイメージして学校に通ってはいない。それなら何をイメージしているのかというと、何もイメージしていない。彼らの心の中に学校は定位置を持っていないのである。

私の目の前にあるポジショニング不在の結果は中学校の荒廃である。遅刻が増え

た。始業時間になっても席につこうとはしない。私語がやかましくて授業ができない。煙草を堂々と吸っている。学校をさぼる。いじめをする。そして、簡単に嘘をつく。煙草を吸っていた現場を見つけられても、平然と吸いがらを拾っていたのだと言う。授業中私語を注意されると、今しゃべっていた口で自分ではないと言う。明らかないじめを教師に目撃されても、遊んでいただけですと平然としている。このあっけらかんとした態度には一種不思議な感動すら覚える。これらは決して学校に反抗してやろうという「不良」がやっていることではない。ごく当たり前の中学生がごく当たり前の中学校生活の中でやっていることだ。

学校というものが生徒の中ではっきりとした位置を占めていなければ、教室という空間で自分がやっていることが自分の人生と密接に関係しているのだという実感が湧かない。その結果、当面忍耐を要する授業などは無視することになる。また、人間関係においても嘘を言って自分の恥とは感じない。教師や仲間との信頼関係などはそういう浮遊した空間で生まれることはない。

十年前、不良たちは学校というものをしっかり心の中に抱え込んでいて、反抗を自分の拠り所にしていた。それだけに教師から見ると浪花節的な説得をする余地も残っていた。それに比べて今の生徒の心の中に「反抗」という意識はない。学校はただの空洞であるから、反抗するに値しないのだ。

学校という建物は厳然としてある。そして、ともかくほとんどの生徒は登校してくれる。我々教師がそういう物理的な事実に安心している間に、生徒の中における学校のポジションはどんどん風化してしまった。

そして今、多くの教師は、学校とはこういうものだという信号を生徒に送るために「管理的」なパフォーマンスをするしかない。例えば、学校というところは靴下の模様までも決めるほど規則を大事にするところなのだというメッセージを送るのである。もちろん、靴下にワンポイントがあるかどうか自体に価値があると考えているわけではない。これは確かに近視的な悲しい方法である。所詮そういうメッセージによってつくられたポジションは個性からも自主性からも離れたところにある。だが、もっと悲しいのはこれが今のところ中学校にとって唯一有効なポジション回復の戦術であるということだ。

これからどうやって生徒の心の中にある「中学校」に明確な位置を与えていくのか、それが我々の課題である。そして、できるならば生徒の中の明るい表通りに学校を建てたいと私は思うのである。

(兵庫県立中学校教諭)

## 教師がかわらなければ……

湯浅 久子（昭和46年卒）

ここ数年低学年を担任することが続いたせいか、自分でも不思議なほどひらがなでものを考えるようになった。日本語がなかなか通じない子どもたち、常識の枠の中に入り切らない子どもたちを相手に、どうすればこの言葉の意味がこの子どもたちに伝わるのだろう、どうすればこの考えをこの子たちに理解してもらえるのだろうと悪戦苦闘しているうちに、私の中から少しづつ漢字が姿を消していったような気がするのは気のせいだろうか…。

ともあれ、そんな私に香川の教育を語れと言う。これは、ちょっと困ったなと思いつつ今、数枚の原稿用紙に向かって思いをめぐらせている。

現在、小学校の教育現場で強く呼ばれているのは、子どもの側に立った授業の創造ということである。子どもの興味・感心を大切にし、一人一人のよさ（個性）を生かす授業——言ってしまえば簡単ではあるが、これがなかなか思い通りにはいかず難しい。

今から何年、いや何十年（？）前になるだろうか、我々の小学校時代を思い出してみよう。いつも前を向いて授業に耳を傾けていた一時間、みんなと同じことを同じように取り組むことがよしとされていた。そして、同じことを少しでも早く、少しでも多く正確に覚えることに必死になっていた。

子どもが好きで、教師という職業にあこがれ、初めて教育界に飛び込んだ頃、先輩の教師の授業のうまさに圧倒され、どうすれば子どもたちにあんな力がつくのだろうと、連日のように考えていた。少しでも子どもたちに基礎・基本となる力をつけてやりたい、それが大きな目標でもあった。が、今、それらが大きく変わろうとしている。教室の中で、みんなが同じ体験をし、同じことを考え、同じ知識を身につけていく……果たしてそれでよいのだろうか。子どもたちは一つのことに対しても、一人一人目のつけ方が違うであろうし、問い合わせも決してみな同じというわけでは

ない。なのに、教師は、これを共通に知らせたい、考えさせたいとして、教師が与えた課題に同じように取り組ませ、授業を構成する。それは、子どもの知的好奇心を読み取り、子どもを「学ばせる立場」に置いた授業の展開ではなかったか。子ども一人ひとりのその子らしさ、言い換えると、個性が生きることがおろそかにされてはいなかつたかと。

では、個性が生きる授業とは？

教師が引いたレールではなく、自分で引いたレールの上を子どもが自分の足で歩んでいく授業。それは、子ども一人ひとりが自らの興味・関心、問い合わせに対する解決意欲に基づいて何をどのように学ぶかを自らの意思で選択し、主体的・創造的に学習を展開する授業ではないのかと。

現在、多くの書物や現場でこのような「新しい学力観」についての論議や実践がつぎつぎに紹介されている。う～ん、そのとおりだと思う。そして、私自身、日々そんな授業を模索しているわけだが、前にも述べたようにこれがなかなか難しい。

家庭の中で、子どもの数がどんどん減っている今日、物質的には非常に恵まれた環境の中で育っている子どもたち。あふれるような情報に囲まれ、手を出せばどんな知識だってすぐに手に入りそうな社会。その中で、果たして子どもたちは、主体的・創造的に生きようとする意欲をもっているのだろうかとふと思うことがある。大切にされ、恵まれているがゆえに、与えられることに慣れてしまい、いつも待ちの姿勢になっていはしまいか。

兄弟が少なくなり、町の中に子どもの声があまり聞かれなくなったこの頃、相手の心を思いやるやさしさ、友達の考えに耳を傾ける心の広さはいったいどこで育てられるのだろう、と考えていくと、学校という集団のもつ意味の大切さに気づかされる。

今、子どもたちの置かれている環境と、これから子どもたちに求められている力（それは、学力だけではないと思うのだが）を考えるとき、一番変わらなければならないのは教師自身かもしれない。自分が受けてきた教育とこれまで自分がしてきた教育、それを引きずりながら、なんとかそこから脱皮しようと試みている自分。子どもたちが好きで、子どもたちとともに過ごしていくことに魅力を感じている間は、この悪戦苦闘をこれからも続けていこうと思っている。

（高松市立花園小学校）

特集…① 香川の教育はいま

## データで見る香川の教育

幼稚園就園率

都道府県名	順位	幼稚園就園率
沖徳神香埼 奈	1	89.0%
	2	81.2
	3	78.5
	4	77.2
	5	76.5
福兵宮大大	6	76.4
	7	76.1
	8	75.9
	9	73.0
	9	73.0
静千柄茨奈	11	72.7
	12	72.4
	13	71.4
	14	71.3
	15	70.1
東岡滋全北長	16	70.0
	17	66.6
	18	64.3
	19	63.8
	20	63.2
國平海	21	61.2
	22	60.9
	23	60.6
	24	60.3
	25	60.2
兒	26	59.9
	27	58.2
	28	58.2
	29	57.6
	30	56.4
岐京広山愛	26	52.1
	27	58.2
	28	58.2
	29	57.6
	30	56.4
福岩島山佐	31	52.1
	32	51.6
	32	51.5
	34	51.5
	35	50.6
秋和宮熊鳥	36	50.3
	37	51.6
	38	51.5
	39	50.6
	40	50.3
歌	36	49.5
	37	49.1
	38	47.7
	39	44.8
	40	43.6
山青富新石	41	49.5
	42	49.1
	43	47.7
	44	44.8
	45	43.6
高長	46	43.2
	47	41.8

平成5年度  
文部省「学校基本調査」  
▷幼稚園修了者数を小学校第1学年の児童数で割  
ったもの

## 高等学校進学率

都道府県名	順位	高等学校等進学率
富石山広山	1	98.8%
	2	97.9
	3	97.7
	4	97.3
	5	97.2
愛京長鳥岡	5	97.2
	7	97.1
	7	97.1
	9	97.0
	9	97.0
大宮福三奈	9	97.0
	12	96.9
	12	96.9
	12	96.9
	12	96.9
長滋岩島山	16	96.8
	16	96.8
	18	96.7
	18	96.7
	18	96.7
徳青福佐北	18	96.7
	22	96.6
	22	96.6
	22	96.6
	25	96.5
群兵宮岐和	25	96.5
	25	96.5
	25	96.5
	29	96.4
	29	96.4
熊鹿晉東新	29	96.4
	29	96.4
	33	96.3
	34	96.2
	34	96.2
大金静秋茨千	34	96.2
	34	96.2
	37	96.1
	38	95.9
	39	95.8
愛神柄崎福	39	95.8
	41	95.7
	42	95.4
	43	95.2
	43	95.2
高沖	45	94.2
	46	92.6
	47	91.2

平成5年度  
文部省「学校基本調査」  
▷高等学校等進学者数を中学校卒業者数で割った  
もの  
▷通信制課程への進学者を含む。

大学・短大等進学率

都道府県名	順位	大学・短大等進学率
奈兵福德愛	良庫井島知	1 44.4% 2 44.3 3 44.2 4 43.5 5 43.3
	川島媛山川	6 43.1 7 42.7 8 41.7 9 41.4 10 41.3
	山都賀岡阜	11 41.0 12 39.9 13 39.4 14 38.9 15 38.7
	重京阪分岡	16 38.6 17 37.1 18 37.0 19 36.2 20 35.7
	梨島口根均崎	21 35.6 22 34.8 23 34.7 24 34.5 25 34.1
三東大大福	児国平	26 33.6 27 33.5 28 33.2 29 32.4 29 32.4
	山取木賀崎	
	野馬川本知	31 31.4 32 30.9 33 30.5 33 30.5 35 30.2
	葉城玉形道	36 29.2 37 27.9 38 27.6 39 27.2 40 26.6
	田島城森手	40 26.6 42 25.6 43 25.5 44 25.3 44 25.3
長群神熊高	鴻繩	46 24.5 47 20.1
千茨埼山北		
秋福宮青岩		
新沖		

平成5年度  
文部省「学校基本調査」  
▷大学・短大等進学者数を高等学校卒業者数で割  
ったものの（現役のみ）  
▷通信教育部の進学者を含む

### 私立学校生徒数の割合（高等学校）

都道府県名	順位	私立校数	生徒割合	
東京福大柄	京都岡阪木	1 2 3 4 5	56.1% 40.1 39.9 36.1 35.5	
	岡知川崎本均	6 7 8 9 10	33.0 31.9 30.6 30.4 29.6	
	奈			
静愛神宮熊全	葉形山崎島	11 12 12 14 15	29.4 29.2 29.2 29.1 28.9	
	千山岡長広	島口玉良城	16 17 18 19 20	27.1 27.0 26.9 26.6 26.5
	鹿山埼奈宮	庫森城馬梨	21 22 22 24 25	25.5 25.0 25.0 24.3 23.7
	兵青茨群山	取山井川分	26 27 28 28 28	23.3 23.2 23.1 23.1 23.1
	鳥富福香大	賀道媛知阜	31 32 32 34 35	22.3 22.0 22.0 21.6 21.2
佐北愛高岐	海			
三石福島岩	重川島根手	36 37 38 39 40	20.7 18.9 18.6 18.3 17.3	
	新長和秋滋	湯野山田質	41 42 43 44 45	17.0 15.5 13.8 12.3 11.7
	歌			
沖德	綱島	46 47	6.2 4.9	

平成5年5月1日現在  
文部省「学校基本調査」  
▷私立学校生徒数を高等学校全生徒数で割ったもの

## 戦時下の青春 ～あの頃も輝いていた～

今年1995年は、戦後50周年という記念すべき年に当たります。県女（旧制高松高等学校）昭和19年ご卒業の皆さんにお集まりいただき、当時のいろいろな思い出を語り合っていただきました。（発言は順不同）

場 所：雲照寺（代々木上原）

日 時：平成7年4月17日（月）

ご出席者：右川広子、浮田久子、太田清江、岡坂晴子、小河弘江、  
小西加寿子、鈴木タカ子、畠中静枝、羽原絢子、藤井和子  
宮井武子の皆様（敬称略）

聞 手：田中秀明、花岡萬之、久慈洋子（昭和46年卒）

ま と め：久慈洋子、安部恵子（昭和46年卒）

### 〈入学の頃〉

- まだ、入った年はよかったです。昭和14年頃は。中国とは戦争してましたけれど、まだ制服もスカートを一応はいていましたし、靴下もありましたし。
- 高々のもとの旧校舎が私たちが入ったときにはちょうど新築になった校舎で、あの廊下を皆ブルマーはいて、糖袋で磨きました。道路の方までもね、割烹着をかけて学校の周りの道路を竹ぼうきでお掃除しました。
- 大体、体育の時間に体育をした覚えがあまりないんですよね。テニスコートを作るので、生徒が何メートルも下を掘るんです。それで砂利を入れて、土を入れて、全部生徒たちが作りましたよ。
- 屋島で体育祭があったのですが、そこまで裸足で行進したことがあるの。10キロ近くね。
- で、校舎のなかは、手で縫った靴下（笑）。新築の校舎を大事にするためにね。
- 遠足で52キロ歩いたこともあるわ。剣山とか、石槌山とかまでね。
- 遠泳で6キロ、ってのもあったじゃない。

— いまでも、歩くだけは、娘に負けません（笑）。

### 〈戦時色が濃くなる〉

- 学校の校門を入ったところに奉安殿がありまして、そこを通るときには必ず深い最敬礼をして行きました。
- 私たち、とてもまとまりがいいんですよ、鍛えられましたからね。でも自分の意思というものがね…。
- ないわね、軍国教育で管理されてね。
- それと、楽しいことができないわね、辛抱はピカイチだけども。
- ただ、ある枠のなかでいくら強制されても、物資がなくても、皆がその中で生活しているでしょ、同じ条件ですからね。



県女時代の記念撮影

### 〈ちょっと、楽しみ〉

- 楽しみっていえば、映画を見ることかしらね。教護連盟って、怖いおばさまたちの目を盗んでね。私なんて、ワルの一番だったから。
- もうね、赤ちゃんをおんぶして、姪だったんですけど、行きましたよ。
- 初めて洋画見たのが「ロビンフッドの冒険」。学校からいい映画を見せて下さるんですけど、それが「路傍の石」。
- 農村へ稲刈だとか、麦刈だとか、託児所へ行ったりとか…
- 行くと農家の人がじゃがいも炊いてくれるの。おいしかったわねえ。
- でも、食べ物もだんだん窮屈してきました。去年、お米がないって大騒ぎだったけれど、あれくらいなんてことはないわね。
- 麦割り弁当なんて持つて行く日が決まっていたわね。梅干し1個で。
- おかげで中にはさんでいくこともあったけど、見つかるとたいへん（笑）。
- 修学旅行もありましたよ、お米もって。船で京都、奈良行きました。ちょうど私たちが、伊勢でしたか泊まっているときに山本五十六さんが亡くなっています。
- 京都だったわ。
- 私たちは、海軍があこがれの的でしたものね。



高女の卒業式風景

司会：高中の中には、“あこがれの人”とかいらっしゃらなかつたんですか？

—— 高中は斜め前ですから前を通るんですけどね。屋上の棚から1メートル線を切ってあって、そこから前に行っちゃいけないんです。高中の方を向いてはいけないの（笑）。

—— 学校行くのも、隊を組んでいってね、そういうときに高中の生徒と行きあっても見ちゃいけないの。

—— 県女のスカートは一本線が入っていて、それが誇りで。高中も“ワン”なんて言ってね、県女のことを。

#### 〈心に残る先生方〉

—— 柳原先生って、世にも有名な先生がいてね、とっても厳しかった。でもすごく慕われていた。

—— 厳しいけれど、美男子（笑）。厳しい中にもやさしさがあって、昔の理想的な先生かもしれないわね。

—— 県女の誇りを一身に背負って、背筋をピンと伸ばしてね。

—— 国語の丸岡先生っていうて、とても楽しい授業だったのよ。女の先生で、今も元気なんですよ。

—— 丸岡先生の宿題で作文書いたの。「この戦争が文化にとってどういう風にいいことか、悪いことか」って題の。私は「戦争っていうのは、万葉集とかいろんな古い文学が研究されていい」なんて一所懸命かいたんだけど、先生は本当は「違



話は50年の時間を超えて

う」っていってほしかったんだと思うんです。

—— 大正時代にわりあい民主主義的な教育をうけた方は、やはり自由主義的なものを受け取っていて、反戦という思想は鮮明にもっていらして、教育の場に少しずつちらほらとでてくる。

—— お話をときは、いわゆる世界名作のようなものをよくして下さったわね、「テス」とか…。

—— よく、「椰子の実」とか歌って下さったわね。



「あの頃は大変だったわねえ～」

#### 〈県女挺身隊、光海軍工廠へ行く〉

司会：ここらへんで、光工廠にいらした方のお話をうかがいたいのですが…。

—— 学校側に要請があって、私たち昔の軍国少女は競って行ったんですよ。しぶる家の人に何とかかんとか、自分で説得して。

—— 就職なんですよ。お給料はくれましたから。えーと、60銭か70銭。

—— 5年生の2学期の終りぐらいで、終業式は校長先生たちが光工廠にいらして下さったんです。

—— 私もみんなと一緒に行きたかったんですけど、親が「師範を受けさせますので、やめさせて下さい」って。子どもの方は行きたくてたまらなかったんですけど。

—— 結局40人くらいね。「香川県立高松高女挺身隊」という名前ですね。

—— 私たちは希望していったわけですが、最後はもっともっと緊迫していましたね。おしまいの頃には、地元の小学校の5年、6年の子が来ていましたもの。残った人たちだって、軍需工場行ったり、学徒動員ですからね。

—— 光は海軍工廠なんですが、現場に出て、大きな機械使って半年間作業してました。人間魚雷回天とか、特攻兵器を作っていたんですよ。中学の2年くらいから見習工でどんどん送りこまれて、徴用工なんて体が弱くて軍隊に行けなかった人たちが強制的に徴用されて働かされるわけだから、もっと悲惨で。

—— 毎日12時間労働ですよ。それで階級制がすごいんです。海軍の技術士官は高等官食堂、私たちは挺身隊でも工員の部に入るから工員食堂。士官さんたちは銀バスっていって石油がない時代に大きなバスで送り迎えて。国の政策というの



「光工廠ではねえ~。」

は、特権階級にのみ厚くて一般、下々のものにはものすごい差別をしていましたね。

——だから後になつたら気が付いて、悔しいと思いますけど、その当時は洗脳されてるから別に疑問も抱かない。でも、だんだん戦局が厳しくなって空襲がひどくなってきたときには、何となく変だなと感じるようになりました。片腕のない人がいて、片手で水持つたら敬礼なんてできないでしょ、それを「何で敬礼せんか！」ってものすごいビンタで、もう殴る蹴る。皆が見かねて「手がないから」っていいたら「ああそうか」って、そんな主任がいましたよ。やはり、人間を人間と思っていなかつたです。

——一銭五厘で召集されて戦死した人と同じで、徵用工具なんてその辺の戦力の1つの駒みたいなもので、それがちょっとでも悪いことしたら、例えば石鹼1つでも隠匿したら、たいへんな処罰を与える。そういうふうにして統制をとっていかないと戦争という一つの目的に向けられないのかな、ということが最後の方になってわかつきましたね。

—— 私が光に行くときの話ですけど、父が町会長で出征する人のお世話をしていたのね。でも、家には女の子しかいなくて引け目を感じていたのでしょう。私が燃えて「行く！」っていったとき最初は反対しましたけどまあお国のためだからと許してくれて、1月の末の寒い朝でしたか、未明に起きて町会の人たち皆が見送ってくれたんですよ。でも、行ってからは皆もばらばらになるし友達ともつきあえる状態じゃないし、何かちぐはぐになっちゃたんです。そして親の方もいろいろ理由をつけて策略をめぐらして、結局11ヶ月目に救出された（笑）。

——一緒に鉢巻き締めて兵器作るんだと張り切って行ったのに、しばらくしてばらばらの部署ごとの宿舎になってがっかりしちゃってね。それでもお化粧も全然せずにセーラー服を最後まで着て、皆勤めました。



光海軍工廠への引越し

—— 終わりは10畳くらいのところに7、8人雜魚寝だしね。最初は、夜だって皆でコーラスしたり、海辺行ってああ楽しい、なんて修学旅行みたいでしたけど。

—— 最後の、8月14日の空襲ですが、下松の燃料廠に10時半頃ものすごい空襲があったらしいのね、それでいったん退避したんだけれど12時20分頃解除の指令が出て、12時40分頃遅れたごはんを食べようと思ってお箸をさしたら、ザーッという音がして、ちょうど、電車が百台くらいズーッと走っていくような音がして、上見たらものすごい爆弾が落ちていっているんです。向こうの海際の建物が全部吹っ飛んじゃってる。「逃げろー、外へ出ろー！」って「なにがなんでも工廠の外へ出ろ！」って班長さんが怒鳴って、皆がさーっと逃げて…。5回にわけて、5分間隔の波状攻撃で、150機くらいだったようです。門までの間の防空壕に入つて、「胸と腹をつけるな」って、衝撃で内臓破裂しないようにね。

—— 堀女の方は無事でしたが、丸亀高女の人が1人亡くなつたようで…。

— それで翌日、玉音放送があったのね。高松に帰るとき、夜だったんですが、海岸ぶちにずっと火の玉が見えるんです。遺体のリンなんですね。砂浜に遺体を並べて、木を並べて、10何日間も燃やし続けて…一生、あの光景は忘れられませんね。

—— 高松も7月4日に空襲にあいましたし。



— ほんとに苦しい時代でしたけど、厳しい中に、なんか、楽しみもありましたよね。

— だから私たち、団結が強いわよね。

— 責任感も強いし、我慢強いし… (笑)。



当時のことを記した本

#### 〈座談会を終えて〉

皆さん、ちょうど私どもの母親の年代に当られるわけですが、子どもというのには、どうも親の昔話を聞きたがらない傾向にあり、親の方も面と向かって話すのが照れくさいようです。その意味でもこの座談会で、わずか50年前に日本で、高松で起こったことを伝えていただいたのはよい機会だったように思います。もちろん、こんな短い時間に、皆さんの胸にずっしりと根をおろしている深い思いを、どれだけ感じとれただろうかとは思いますが…。

ご出席者の一人が、次のような歌に心を託して下さいました。私ども戦争を知らない世代へのメッセージとしても、しっかりと受け止めさせていただきたいと思います。

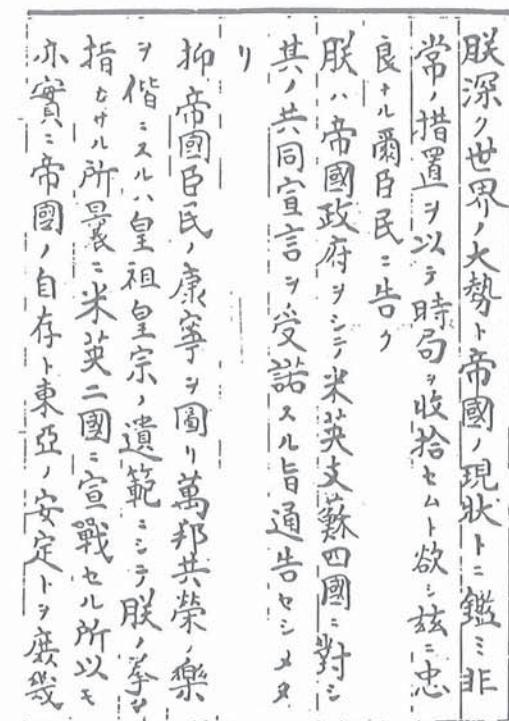


「祖国をば信じて我等青春を

ひたぶるに生きぬ後悔はせじ」

「再びは戦にこの手貸すまじと

決めて生き来ぬ戦後50年」



終戦の詔書（一部）



## 対岸へのこだわり

佐野 宏哉（昭和23年卒）

私が高中に在学した時代は、瀬戸大橋も飛行機もないころでしたから、香川県の外にむかっての窓口といえば宇高連絡船でした。そのためでしょうか、最も頻繁に意識される他県といえば、岡山県でした。

連絡船で結ばれた香川県と岡山県の関係といえば、私がまず思い出すのは藪草刈りの出稼ぎです。当時香川県の農家から大勢の人が藪草刈りのために、連絡船で瀬戸内海を渡っていましたが、この人の流れは、岡山県の方が香川県より農家の経営規模が大きいことを示しているように思われました。それになんといっても、雇う岡山県人と雇われる香川県人という関係ですから、岡山県の優位を示しているようで、余り愉快な風景ではありませんでした。

4年生になると進学のことを考えるようになりますが、当時の高中の秀才にとって、標準的な進学先は、岡山にあった第六高等学校がありました。六高の所在地という意味でも、六高における最大勢力が岡山一中であったという意味でも、岡山は気になる存在でした。

私の岡山に対するこだわりは、実は、更に幼少の頃にさかのぼります。香西にあった祖母の実家は、法廷闘争にまで発展するほどの漁場紛争にまきこまれたのですが、その相手が岡山県人だったらしく、祖母は、幼少の私にむかって、へらこい岡山県人のために御先祖が如何に苦労したか、うますたゆまず語ってきかせたものでした。祖母からふきこまれたへらこい岡山県人とお人良しの香川県人という対立の構図は、中学時代に藪草の出稼ぎをめぐって雇う岡山県人と雇われる香川県人を眺める構図と、ダブっていたように思われます。

後年、全国農協中央会の宮脇会長が岡山医大病院で他界された、と知り、あらためて高度医療機関としての岡山医大の存在に気付きました。若い頃気付いていれば、これも岡山コンプレックスの原因になったでしょう。

私達の時代にくらべると、いまの香川県人は大変めぐまれているように思います。

高松空港のジェット化により、東京やソウルへのアクセスにおいて、岡山を含む他の県にくらべて何の遜色もなくなりました。瀬戸大橋の完成により、交通に関しては島でなくなりました。岡山県人が逆に夜の会合を香川県で設営するようにさえなっています。

教育の面からみても、東大や京大に進学するのに岡山を経由することはなくなってしまいました。香川医大もできました。

藪草刈りの出稼ぎにいたっては、いまではそういう昔話を知っている人さえ極く少数になってしまったでしょう。

いまでは岡山コンプレックスなど存在すべくもありません。コンプレックスがなくなつて眺めてみると、岡山県はなかなか良いパートナーだったのではないか、と思うようになりました。

私の父は、高中→六高→東大という標準コースを進みましたが、六高は父にとって大変良いところだったようです。父と一緒に京都に住んでいた当時、父は毎日曜日六高時代の友人と社寺をみてまわるのを楽しみにしていました。私が結核にかかったときも、その仲間の一人である京大医学部教授に治して頂きました。

高高出身の弟も、日興証券岡山支店勤務当時、岡山県人の皆さんによくして頂いたらしく、岡山暮らしを堪能している風情ありました。

いずれ瀬戸内海に三本の橋がかかるとき、瀬戸大橋は四国を本州と結ぶ唯一の陸路としての特権的地位を失ない、それについて四国各県は、それぞれ本州との結びつき方を競いあう時代に入るでしょう。四国唯一の国際空港としての高松の地位も、そういつまでもは続かないでしょう。岡山県との一体化がますます進むことでしょう。そう考えますと、かつて岡山にあった六高が多くの高松の青年をひきつけ、終生忘却がたい青春の三年を提供したことが想起されます。高松にも、岡山県といわず、県外の智性をひきつける魅力的な何物かがほしい、そういう思いにかられます。

（大日本水産会会長）



## スクウェアダンス

林 正慶（昭和27年卒）

昭和22年の学制改革（いわゆる六・三・三制の導入）によって、前年に高松中学へ入学した我々同期は、翌年進級する際には、香川県立高松高校併設中学2年生ということにさせられてしまいました。大学入学願書の履歴書欄に、「昭和24年3月 香川県立高松高等学校併設中学校卒業」と記入するのが、何か余計者の経歴のようで気持に引っ掛かりを感じてきました。

太平洋戦争末期の高松大空襲で校舎が全焼したため、数ヵ所に別れて1年間の分教場生活を送ってきた我々でしたが、バラックに近い応急の木造教室とはいえ、2年生の4月から一か所に集まって勉強？できるようになったということは大変な喜びでした。しかし、この昭和22年度は1学年4クラス編成であったため、1クラスは80名余りの大世帯で、大袈裟にいえば、教師の立っている教壇から教室の最後列は霞んで見えたのではないかとさえ思われる状態でした。当然に教師1人ではクラス全体に目が届くはずもなく、食糧事情のせいにして、気の早い仲間は1時限目の授業中から、立てた教科書の蔭で弁当をパクつき始める始末…………。

高松中学と高松高女が合併して生まれた高松高校へ自動的に進学できた我々ではありましたが、男女共学はまだ中途半端で、いわゆるホームルームのクラス分けが男女一緒になったのは、高校2年になってからだったと記憶しています。「男女7歳にして席を同じうせず」という儒教的な初等教育の中で育ってきた我々にとって、女性と同じ教室で授業を受けるということはなんとも落ち着かない話で、初めのうちは、授業中に恥をかきたくないばかりに、柄にもなく予習などというものをやって登校したような記憶もあります。

授業時間中の男女間のギゴチなさを感じたのかどうか、学校側は秋の文化祭にスクウェアダンスをやろうといいだして、我々をスッカリ面食らわせてしまいました。それほど大人が気配りをしなくとも、「遠くて近きは男女の仲」と昔からいわれてい

るとおり、休憩時間や放課後には、それぞれに今までのコミュニケーションは十分に図られていたと思います。

体育の時間が、スクウェアダンスの練習時間に充てられ、上背の低い順に男女それぞれ一列縦隊に並ばせられて、隣の異性と手を組めというご指示です。女性の指にすら触れた経験もないのに、いきなりダンスポジションをとれといわれて、恐る恐る人差し指を一本だけ差し出した仲間もいました。どうせやらされるのであれば度胸を決めてやるしかないと、パートナーの手を握りにいったときの第一印象では、女性の手というのはずいぶん柔らかいものだナアというのが実感で、その感覚は未だに掌に残っているヨウナ気ガシマス。

フォークダンスの定番といえるオクラホマ・ミキサから始めて、練習時間が3回目、4回目と回を重ねるうちに、パートナーにも相性があることが分ってきました。軽く踊れる相手と、何とはなしドタドタという感じの相手があることは、ソシアルダンスと変わりありません。彼女はどう思ったかは分りませんが、T嬢と組んだときは、リズムに乗れて楽しい時を過ごすことができました。（当時のウラ若きT嬢も、今や私同様に還暦を超えていますし、何かロマンスでもあったかも知れないと思うのは、下衆の勘織りというものです。）

高校を卒業していつの間にやら既に43年が経ちました。中国の先哲・孔子は「六十而耳順」と悟りきった心境を語っていますが、凡人はこれからもまだまだ様々な思い出を残しながら生臭く生きて行くことだろうと思っています。

（日本機械保険連盟理事）

## 特集② 母校の思い出・私の近況



一九九七年七月一日

植松 修三 (昭和30年卒)

この日まで、あと二年。

2年後のこの日には、「ユニオン・ジャック」が静かに降り、「五星红旗」が、何事にも悟り顔で、香港の青い空に翻っていることだろう。

思えば長い道程であった。1842年の南京条約（アヘン戦争）で永久割譲された香港島と九龍地区。1898年の北京条約（アロー号事件）で99年間租借された新界地区。合わせて今の香港が、一括、中国に返還されるのが、この日である。同時にあって、7つの海を制覇した、大英帝国の版図に植民地がなくなり、150年間、大国中国の喉に刺さったトゲが初めて取れる歴史的一日でもある。

1984年、今から11年前、香港のこの日の運命を決めた「中英共同宣言」の主役は鄧小平とマーガレット・サッチャーであった。鄧小平は、寿命が許せば、この日を香港で迎えることが夢であると語っていたし、サッチャーは歴史の証人として、早々とこの日の香港のホテルに予約を入れている。

「一国二制度」一何事にも直線的な日本人には馴染みにくい、このプラグマティックな解決では、これから50年、主権は中国に返還されても、香港の資本主義的諸制度は、「港人治港」の名の元に、今までと変らず、保障される筈である。この間、中国の香港化が進むのか、香港の中国化のスピードの方が早いのか、予断は出来ぬが、ややこしいのは中英共に、2047年迄、この協定が有効であるとは思っていない節があることだ。50年とは「相手に長い期間」との理解で、香港の将来は、国際政治の狭間に揺れ、バランス・オブ・パワーが何事にも問われる「不確実性の時代」に入ったと思って間違いかろう。

——毎年の日本人観光客が約150万人。最近の香港の繁栄を目あたりにされた方は多いであろう。素晴らしい一語に尽きる夜景と、文字通り林立する高層ビル

群に、その繁栄を見る。今も「山頂」(ビクトリア・ピーク)近くの住宅の窓から、この夜景を見ながらペンを走らせていると、もう40年も前、坊主頭に制帽をかぶり、未だ焼け跡の残った町の、どこからでも見えた母校の校舎と、あの頃の生活が走馬灯となって甦る。――

さて、台湾で三年、この香港で2年。最近の5年間を続けて、中国人社会で住んでいると、日本人は中国及び中国人のことを本当に判っているのかしらと自問することが多くなる。

台湾人は、どうやら香港人があまり好きではないようだ。西洋かぶれの拝金主義者とでも思っているのか、ちょっと距離を置きたがる。上海人はと言えば、商売が上手く、抜け目がないから、台湾でも、香港でも、あの人は上海人と言えば納得顔して、何となく用心が顔に出る。顔の彫りが深くて、背の高い山東人は、丸顔で、ペッチャンコの寸たらず（失礼！）の広東人とは同じ漢民族とは思えない。共産中国に生まれ育った人々を部下に持つと宇宙人に仕事を教えるようなものだ。先ず、利息の観念がない。減価償却？ それに時間と利益に見合って給料が払われていることが判って貰えるのは何時のことやら？ 中国人の歴史的、民族的美德の一つに「信義」があるが、どうやらこれも、現今の中政体制ではどこかに置き忘れられているらしい。

どうも日本人は、自分の物指でしか他人（外国及び外国人）を見られない、悪い癖から未だ抜けていない。地域によって異なる言葉、異なる人と風土を考えれば、中国の多様性はヨーロッパと同じで、決して单一国家、单一民族の日本ではない。一握りの、遣唐使による交流で、漢字や宗教、その他、多くの文化遺産を共有しているが、それだけで中国及び中国人が判っていると思い込むのは誤解であろう。大衆レベルでの交流と言う意味では、不幸な日中戦争の時期を除けば皆無に等しい両国だ。

明治維新以来、国を挙げての脱亜入欧でも、未だ未だ日暮れて道は遠い。入亜脱欧とも言われているが、甘えてはいけない。この道も険しく、又遠い。自分の物指しから、相手の物指して、自らの身丈を秤出来るのは何時のことであろう。

(香港三井物産社長)

## 歌に生き愛に生きる ～林康子インタビュー～



林 康子（談）（昭和37年卒）

聞き手 久慈 洋子  
田中 秀明  
(昭和46年卒)

世界を股に駆けてご活躍の声楽家林康子様にインタビューする機会に恵まれました。以下の内容は5月16日に母校のために3時間もの時間を割いていただいたお話の一部です。

### 林康子様の略歴

香川県大川郡三本松に生まれ、大川中学を経て高松高校に入学、卒業と同時に東京芸術大学入学、大学院終了後1969年イタリア政府留学生としてミラノ・ヴェルディ音楽院で1年、スカラ座付属オペラスクールで2年学び卒業。在学中大スカラ座に「蝶々夫人」デビュー（日本人初）。1972年ロッシーニ生誕180年記念コンクールに優勝。一躍脚光を浴び、以後世界の名指揮者と世界の劇場で様々なレパートリーに渡るオペラを共演して現在に至る、名実共に世界のプリマドンナ。わが国では1982年、藤原歌劇団公演「アンナ・ボレーナ」で本格的にデビュー、以後度々帰国公演を行っている。サントリー音楽賞、毎日芸術賞、ジロー・オペラ大賞、ヨンデン芸術賞、イタリアの「金の射手座賞」など数多くの賞を受賞している。

### 子供の頃から高校時代まで

～高松高校がハイレベルであったから、私歌い手になったと思います。～  
林： 小学校のときはピアノなんかとても買ってもらえないから、母がお琴行ったらどう？ といって、それでお琴習いに行きましたね。2、3年行ったのかな。お琴の中に歌のあるのが好きで、それで大きな声で歌ってました（笑）。— 小さい頃から町のコンクールとかに出てらしたんですか？  
林： 町だけじゃなくて香川県の音楽コンクールっていましたよ、中学のときから。1年のときは3位で、2年が2位で、3年生が1位でした。中学校のときからものすごく力入れてくれた先生がいたんです。あの子は大川中学来るんかなぁ、高松市内の中学校なんか行かんやろうなあとか行って待ってくれた人がいたんです。

大川郡大内町三本松の小学校、中学校も同窓生が私のファンクラブの会長さんなんんですけど、当時よく遊んでいました。那人とは大喧嘩したことがある（笑）。保健室でつかみ合いのけんかをしました。私当時大きかったんですよ、あの人も大きくて、女の組と男の組となってね、保健室でぎゃんぎゃん取っ組み合いの喧嘩したのを覚えています（笑）。そういうのがなんかね、力になっているような気がしますよ、なんか負けん気とかね。へんなきかん気とかね。

— やっぱり女性が一人で違う国に行って、そんなにわからない言葉で一つの道やっていくのは大へんなことだと思います。

林： 音楽始めたときから、イタリア行くまでは非常にコンプレックスのかたまりでした。その前ですよ、高高に入った時点からコンプレックスでした。

— それまではほんとに何をやっても一番だったと……。

林： そうですね、中学校はよくがんばっていて一番だったんですけど、小学校はなにをやっていて、遊んでいても一番だったですけどね。その後は全然ですけどね（笑）。

とにかく高松高校がハイレベルであったから、私歌い手になったと思っています（笑）。一瞬的ですけど、そうだったんですね。2年生で理科と文科に分れるときに音楽の道に入る決心をしました。お医者さんになりたいと思っていたのは少女の憧れみたいなもんで、さっそく現実を味あわされたのが、高高でした。勉強の仕方も全然違ってましたし。それから、文科系になってから、勉強しなくても成績上がってきましたから、ほっとしたんですけど。家では音楽の勉強をしなければならないので勉強できないと思ったから、学校の行き帰りが、1時間以上あったんですかね、その間寝っていないときに勉強すると、それだけにしました。とにかく音楽は時間かかりますから。ピアノなんか高校入ってから練習したんです、バイエルから。

— 小さい時から音楽的な環境がおありだったとか？

林： おばあちゃんが、関東の人なんですね、明治生まれですけど、ヴァイオリン弾いていたと言ってましたね。それだけですね。そして父方が声がいいと。母方も何かキンキンしている声ですって。それぐらいじゃないですかね。妹も声がよくて国立音大を卒業しました。

なんせ高高出で音楽科行く人なんかいなかったですよ。馬鹿じゃないかと。藤原高夫という芸大出て香川大学に勤めていた先生についていたんですけど、音楽のわかる人は、あんたなんか、入れないよと（笑）。ほんとに受からないと思っていたと思いますよ。当時高高から受かった人はいないし、香川県から現役で受かった人はいなくて。

### イタリアに行くまで

～芸大に入ったとき、オペラのアリアを2曲しか知らなかった。～

～芸大でははじめ学科の勉強ばかりしていた。～

林： 芸大に入った時、オペラのアリアを2曲しか知らなかった。ほんとにそう。フィ

ガロの伯爵夫人の2つのアリア、自由曲二つ、それだけですよ（笑）。二つしか知らないのでもよく入ったなあ、と思って。やっぱり声があったんかなあ、と思いますよ。そうじゃないと入れてないでしょうね。

それで大学では学科は高高行っていたからということもあるかもしれないけど、他の学校からきている人よりはちょっと勉強していたと、入ってからよくわかりましたね（笑）。さっき言ったように、しばらく歌のほうでコンプレックスがあったもんだから。他の人はみんなすごいアリア歌ってたりしていて、それで柴田睦隆先生はなかなかアリアくれないしね、コンコーネなんかやっていたんです、ずっと。あのドレミファソラシド……とやるものね。試験になるとトスティぐらいくて、そんなふうに2年間続いてずっと3年目からアリアくれたんですよ。それからバシャバシャとアリアくれるようになってびっくりしたんですけど、とにかくそれまではもう皆さんの後塵を配しているというか、とにかく学科ぐらいは勝たないかんとう思うて、学科にすごい力入れたんです。そしたら、学科全部いい成績でとれちゃったんですね。あとでね、柴田先生が「康子、そんなに学科に力入れることはない、あんたは歌を歌いにこの学校に来たんだろう。」と言うわけね。もうちょっと早く言ってくれたらええのに（笑）。だから学科優秀で出てます、だって他の人が歌えるから、その間私は「ドレミファソラシド」しかやってなかった訳だから。

#### イタリアでの生活とご家族について

～イタリア語と讃岐弁～

～女の子が生まれた時、一生の友達ができたと思った。～

— 生活の違いをはじめは感じましたか。

林： 最初は感じなかった。それどころか、合わすのに必死で、それどころではなかったですよ。言葉が分かるまではなんともなにも分からぬという感じですよ。

— こちらでイタリア語はずいぶんなさってからいらしたんですか。

林： したことはしたんですが、だけど行ってみたら全然違いました。考えてみたらローマのような標準語に近いところに行けばよかったんですね。私たち歌うのは標準語で勉強しているものだから。ミラノはちょっとアクセントとか違うんですよ。トスカナ地方が標準語で、ローマの口でトスカナ語を言えばパーフェクトだと言われるんです。それがうちの主人！（笑）電話の話し声がいいから結婚したようなもんですよ（笑）。

— 写真を見ますと、とても素敵な方ですね。

林： いやー、女性がそうおっしゃいますからね。日本に来ると前はもてたんですね。

— お子さんは二人ですか？

林： 二人ですね。

— お子様もよく帰って来られるんですか。

林： ショッちゅう帰ってきますね、好きだから。

— それでは日本語もイタリア語もペラペラで……。

林： そう、上の子はペラペラですね。下はまだやっとしゃべれるように、讃岐弁が……。讃岐弁から入ってそれを直していくというのが、うちのベースなんですけど（笑）。

— お幾つになられたんですか、お子様は。

林： ここは年がわかるからしょうがないからいうんですけど、この年になるともう年のことは言わないようにしているんですけどね（笑）。上が20歳でミラノ大学の化学の2年生です。あと3年いかなきゃならない、5年なんです。でも、大学入っても出るのが大へんです。

— 大学出るとドットーレとなって、ドクターと名刺によく書いているとか？

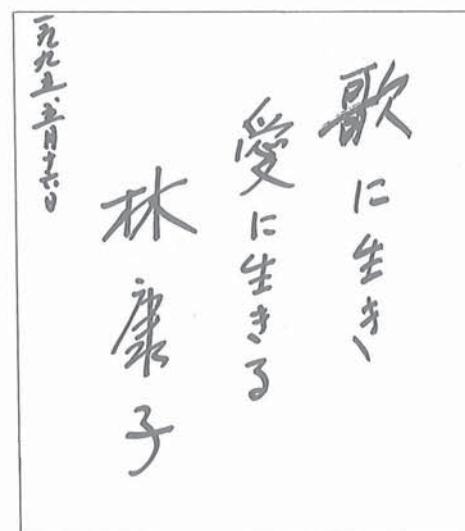
林： いや、ドットーレは誰でもドットーレですから、うちの主人だって法科出ますからね、ドットーレですから（笑）。大学出たくらいでドットーレと呼ばずのなんてなんかおかしいね。でも普通なんですね、名刺なんかにも大学出たらちゃんとドットーレと書いています。箔を付けないといけない国なんですよ、きっと。そういう国なんです。

— そういうところはなんか日本と似ているところがあるみたいですね。

林： いや、出でない人が多いからすごく効くんですよ。日本は誰でも出ているから、やっぱり出でていないといけないでしょ、向こうはあんまり出でていないからそれがきくんです。

— これだけ離れてらっしゃると、お嬢さん、やっぱりお母さんが恋しくなるんじゃないですか。

林： 少しはそういうふうですが、パパっ子なんですよ、昔から。パパというほうが多かったから、すごくパパが好きです。でパパの方をだいじにします。私のほうが男みたいだから、どちらかというと。



私ね、女の子が生まれるまでは、男の子でも女の子でもどっちでもいいと思ってたんです。それで生まれて、ここにポンと置かれたときには、「はー、チャオ！」てね。友情をあたためる時間もなかったためか、私イタリアに友達がいなかったからね、一生の友達ができたと思った。それがうれしかったですね。とくに向こうにいるからかもわからないんですがね。生まれるまでは男の子でも女の子でも、上の男の子のために作ってやろうと思っていたんですが、ところがやっぱり自分のためでしたね（笑）。もちろん上の子のためになりましたけど。

— それだけの芸術活動をやらながるお子さんを持たれるというのは……。

— それだけの芸術活動をやられながらお子さんを持たれるというのは……。

林： 珍しいですよ、私みたいなのは。馬鹿じゃないかと思うぐらい（笑）。

— それでトップをキープされているのは大変なことだと思います。  
林： おかしいですね、こんなことやってできているのがおかしいなって思いますよ。

— ご主人がすごく偉い方でらっしゃるんでしょうけど。

林： きびしーい（笑）。

—— けんかなんかなさいます?

林： よくします。でも向こうがこたえないで我慢しているほうで、反対ですよ、日本と。私は日本の男の人やっていて、主人が日本の女人やっているんです（笑）。

ミラノ・スカラ座のことなど

～スカラ座はすばらしいですよ。いい声に艶を持たせ響かせてくれます。～

林： 歌いやすいのは、響きがいいところだったらどこでもいいんです、大きくて  
も。小さいところはね、響かなかったら困りますけど、だいたい響き過ぎて困  
るんですよ。でも、びっくりして喜んでくれる人もありますけどね、ああこん  
なに大きな声出るのかなと。

やっぱり音響がないとできないという面はありますね、私たちの仕事は。

— 日本のホールだとどういうところがいいですか

林： 私はやっぱり東京文化会館が好きですけど。サントリーホールはちょっと響き過ぎるけど、なおしてよくなつたみたい。必ず響くところでは大成功しますよ。

——ミラノ・スカラ座が一番いいですか。

林： それはスカラ座はすばらしいですよ。うまい人をもっと助けてくれるというか、もっとなんというかいい声に聞かせてくれるんですね。まとまってビンビンなんていうか艶を持って、艶を持たしてくれるというのかな、ヴァイオリンみたいな。

— 共鳴するんですね。

林：そうなんですね。中できれいにこう、あれはもうマジックみたいなもんですね。

— 逆に下手な人は？

林： 下手な人は後ろへ行っちゃうんですよね。そういう人は声が前へ出ていないで、後ろへいっちゃって、いい人と悪いとの差がはっきり出ちゃう。ドイツの歌手はわりあい声がない人が多いんですよ。それに劇場が全部戦争で焼けちゃったでしょう。だからドイツの劇場はセメントでできているんでキンキンキンみんな聞こえるんですよ。聞こえるんですけどいい声には聞こえないですね、イタリアみたいに、まろやかに、こう何ていうんですか上手にできたソースみたいにはできないですね（笑）。

——やっぱり壁の材質の違いがあるんですね。

林： 違うんですね。私が歌ったことのあるバルセロナのリセオ劇場とか、それか

林： 違うんですね。私が歌ったことのあるバルセロナのリセオ劇場とか、それからイタリアのパアリというところのペトルッツェッリという劇場なんんですけど、両方とも焼けちゃったんです、もう使えない。今度再築するときは消防法に従って作るから馬蹄形に詰めてあんなにたくさん入れられないし、もう昔の技術がどういうふうにやったのかわからないでしがらうから、ちがうふうにできちゃうでしょうね。できるかどうかも政治のほうでまたわからない。両方とも音響がすごくよくて素晴らしい劇場でした。歌った舞台にのっていた感じまで覚えているんですね、あれがなくなっちゃったのかなと思うとさびしいですね。そしてエレガントな衣装を着て、昔行ってたなあという歴史を感じられるようなそういう場所であったわけですね。それが消えてしまって。スカラ座も前ボヤみたいなのがありましたよね。一つ一つこのようになくなっていくんだろうな、……。木でできてますからね。

— 世界各国を旅して、イタリアの劇場があつていて一番歌いやすいですか。

林： そうですね、言葉を一生懸命勉強したでしょう。そして私の発声とか発音とかいうのは、イタリアの声であって、しかも発音がいいということが皆さんに価値を認められていて、だからそれを感じて下さるから、イタリア人として感じてくれるからうれしいですよ。だから、私が作り出した本物がわかってくれるというのかな。

マダム・バタフライのことなど

～私は彼女になっちゃってるんですよ。あの役だけは別れられないものになっていて、私の肌から剥せられない。でも、バタフライばかりはやりたくない。新しいレパートリーもどんどんやりました～

— このあいだ（3月22日）新宿文化センターでのリハーサル見学させていただいて、感激して、ほんとに最後の最後まで聴かせていただきました。蝶々夫人の像ですが、それぞれ歌い手の方によつて解釈がそれぞれ違うんじゃないかなと思うんですけれど、彼女について今の日本の女人だったらいろんな意見があると思うんですが、その生き方に対して共鳴して、私もこういうふうにやるだろうとお思いになつますか。私は違うと思いながらやってらっしゃいますか？

林： 私はね、彼女になっちゃってんですよ。だからああやると思っているんですよ。あの通りだと思ってるんですよ、もう分けられなくなっちゃって。もうなんていうのかな、ほんとそ



うですよ。あの役だけはもう別れられないものになっているんですよ。肌から、自分の皮膚になっているから剥がせられないというのかな。

— そういう一体感というのは私もすごく感じました。

林： そうですか、感じましたか？ だから相手役が悪かったりすると、しゃくにさわってしょうがないんですよ（笑）。だから、けんかばかりして、バタフライになるとけんかばかりしてます。

— やっぱりジーンときますよね。

林： バタフライはね。でも私バタフライばかりやりたくはないんです。でも500回くらいやったですかね。でも、ドンジョバンニのドナンナを200回やってるんですよね。だから数えきれない、500回以上やったかもしれない、かせがしてもらつたわ（笑）。私はいつもゲスト出演し、主役ばかりで歌ってきました。ドイツなんか劇場たくさんありますからね、専属歌手がいます。専属というのは主役が回ってくることもあるけど、いろんな役をやらなきゃいけないですね。まあ入りやすいということはあるけど、それはやらなくてよかったなと思います。ただ今まで主役ばかりやってきました。

— それは実力がなきゃ主役はできない。

林： ゲストでいくということが大へんなことなんですね。それだけに気が張っているし、向こうも期待しているから、それがいいんですよね、こっちも張りがあって、やりがいというか。

#### 共演のことなど

～舞台上がったときに私が一番と思ってないと歌えないもんですよ。～

～テノールはアラガルが好きでしたね。指揮者はガヴァッツェーニが大好きです。～

— 芸術家はそれぞれに個性があるから、……。

林： あるし、やっぱり本来やりたかったことがやれなかったという人もいるわけですね。芸大にいたときなんか、勝ち気な人ばかりでしたからね。ほんとに香川県から（芸大に）ドボンと入っていったとき、驚きましたよ。みんな個性が強くてね、きれいな人が多くてね。われこそはという人はばかりでしたよ。

— 芸術家というのはそういう人が多いんでしょうね。

林： そういう人がだいたい60%と思ったらいいですね。芸大のときは特にそれをつくづく感じました。あとはじっくりやる人とか、真面目にやっているけどそんな派手じゃないとか、そういう人もいましたけど、われこそはという人がだいたい60%くらいかな。やっぱり個性がないとできないところですから。舞台上がったときに私が一番と思ってないと歌えないもんですよ、やっぱり気持ちだけでも。そんなもんですよ、私が二番目と思ったら歌えない（笑）。

— 今まで共演なさったテノールで一番いい人はどなたですか。

林： 私は声として好きなのはアラガルという人でしたね。あの人の声は忘れられなくて、歌っていてもビビーンと響くしね、何か聴いているだけで声ってこんなにすばらしいものかと、思っちゃうんですね、人間の声って不思議なこと。だ

から私テノール大好きです。ただそこらへんのテノールじゃダメです、やっぱりその声を聴いちゃったからね、声ってこういう力あるんだなあ、と思って。だけど、バルセロナ出身のあの人は残念ながら精神的に弱かったためか、思ったより伸びなくてパヴァロッティみたいになれなかつたんですけどね。バルセロナの人達があそこの出身の人だから彼が歌うの待ってるんですけど、ショッちゅうキャンセルしちゃうんです。彼怖いんです、出るのが。私と一緒にバタフライ歌ったときは、若くて自信に満ちていたのでしょうか、自然に声が出てる感じだったのですが、何年かあとでボエーム歌ったときは、またすばらしいなと思っていたのに当日歌わなかつたです。一番高いハイのC音、それを出すのがこわかったんですね。

— それだけ舞台に立つと緊張するんですね。

林： それは緊張しますよね。高飛びするようなもんですから、高いところ歌うときは。三段飛びというか、もっとバーンと、それくらい緊張してやりますので。だけど、それを喜ぶ気持ちもね、やっぱり歌は好きだからあるんですよ、あーうまいこといったとかね。

— 指揮者はどういう人が組み合わせとしてよろしいですか。

林： そうですね、……。私はガヴァッツェーニというイタリアの伝統的な指揮者が大好きです。それに一番オペラの伝統をよく教えてくれたように思いますね。昔の紳士で根気よく教えてくれる、そういう先生ばかりだったんですよ昔は。

— たくさんのいい先生にめぐりあったと……。

林： そうですね。でも今はああいう先生はいないですね。彼はもう85才くらいでしょう。もう最後の一人になってきましたね、ほんとにオペラの振れる人は。

— あまり職人的でなくなってきたんですかね。

林： いまの人はシンフォニーやついて、それでオペラのほう始める人が多いですね。レコードの世界になつていて、あまり実力の世界ではなくなってきたから、まずシンフォニーで有名になつたら、当然オペラもできるものだと思っているから。それに声がどういうふうに出るとか、出されるとか勉強していないので、オペラを始めると歌い手が一番わかるんだけどもね、ほんとはね、戸惑ってしまうんだけども、帝王のごとくはあーってひざまずいていかないとキャリアして行けないんですね。そういう時代になってきましたね。だからどんな振り方でもポンと入れるように、そういうテクニックが身につきましたね。

前はちょっと違つて、ソルフェージュが特別に優秀でなくても、きれいな声で歌え



ればよかったんですね。フレージングがきれいに、感激させるように歌えれば大歌手なんですよね。テノールの人はディ・ステファノなんか音取れなかつたけどね、もう人が歌えないような、人が我を忘れて聞き入るすばらしいフレージングで人々の心を打っていました。だから、むしろ音が取れないほうが音を感じないほうが感情というのは移入できるんじゃないかと思うぐらい。感受性があって。そうですね、理屈を超えたところですね、感性の世界ですね。マジックの世界ですね。やっぱりそこが歌の魅力じゃないでしょうかね。なんでもそうでしょうけど、そのわからないところがおもしろいじゃないですか。ぞくぞくするとか、聴いてそういう人が多かったですよ、昔は。何か声聴いただけで。バスのギャウロウという人いるでしょう、あの人が絶世の頃なんかはビロードのオーケストラを聴くというような感じで、すばらしかったですよ。感激しました。甘美な甘美な……。

#### 母校の後輩に一言

～音楽に進む道もある。個性を持って勉強してください。～

— 母校の後輩に一言、何かありましたら。

林： 後輩に一言？ うわあ、もう言えなくなっちゃったなぁ。あんまりそういうことは言わない。

— ちょっと型にはまり過ぎましたかね？

林： じゃああのね、音楽に進む道もあると（笑）。高高からも音楽に行った人もありましたと。まあ、個性的な道を選んだわけですよね。何年か前、高松高校で演説をするように言われたときに、個性を持って勉強してくださいと、何の気なしにいったんですけどね、後で考えたら日本にあってること言っていたかも知れません。私全然意識しなくて言ったんですけど。みんな同じじゃなくてそれぞれにいいものを持っているから、それを生かして自分で見つけてね、見つかるもんですね、好きなことって。それをとにかくなんでもいいからそれに突進していくことだ。まずそれをやつといてから、ほかごとやるとか。それができる世界になったらいいと思うんですけどね。日本は、なかなかそれができない世界かもしれませんけどね。

— 高校から大学入ってまでの頃のお話をうかがうと、他のまだ才能を発揮していない子供達にとってすごく励みになります。

林： 私の子どもだって、何かいいことがあればうれしいな、と思っているんですよ。一人で食べていいからいいと思っています。大望は描いておりません。自分がだいたいそうだったしね。大望は描いてなくて、先に先にチャンスが溢れて覆いかぶさってきたというのかな、そういう感じの人生だったですから。もう子どもできてから10年ぐらい、ずっとそんな生活ですよ。仕事ボンボコボンボコ、それで全部レパートリーが新しく違っていたですから。50くらいのオペラやりましたから、それを覚えていましたから。

でも舞台なんておもしろいもんでね、間違えてもやり直しきかないし（笑）。

いろんなエピソードがあって、楽しいことが多いですよ。瞬間芸術というのはその時にできなかったら過ぎちゃうんですからね。いろんな話があってね、端役やる人なんか出てきたときにおまえもう済んでいるじゃないかなんて（笑）。いろんな楽しい話があって、イタリアではゲラゲラゲラゲラ笑うような、いっぱい経験しました、面白かったです。オペラというのはそういうことも含めて面白い世界だなと思いました。

— 楽しめるというのが……。

林： やっているほうも楽しいんですね。ですから楽しいことを仕事にできてよかったですなぁと思いますね。とくにオペラを歌っているときが楽しいですね。バタフライ楽しいどころではないんですけど、でも楽しいところはあるんですね（笑）。

#### 今回の帰国スケジュール

～リサイタルを6回と、アメリカでオペラ「葵の上」。8月いっぱい家族も帰ってきて三本松で過ごします。～

— 今回は8月までおられるそうですが……。

林： まず、6回リサイタルがあるんですよ、5月13日にオーチャードホールで山田耕筰を歌ったでしょう。この次が19日で掛川、23日に大阪フェニックスホール、それから30日に八幡浜で東京交響楽団を呼びまして市原多朗さんとジョイントリサイタル。6月7日に志度音楽ホールでもやって、そして6月11日紀尾井ホールオープニングコンサート。今度できた、800人くらいしか入らないホールですが、ものすごくいいところですよ。

それが終わったらアメリカの方でやる「葵の上」という別宮貞雄という方のオペラの練習が続きます。

— 源氏物語のですか。

林： はい、御息所というのが主役なんですね。だけどメゾソプラノなんですよ。歌うところがすごく多くて、やりがいがあるのですが、私はソプラノなのであって葵の上の役を選びました。国際音楽芸術家協会という団体が、メトロポリタンで国連の50周年記念にプレゼントするそうです。それが9月はじめ頃にあるんですね。

その前にお休みをしたい。8月いっぱい家族も讃岐へ帰ってきて、行ったことのないところなんかに行って過ごします。みんな讃岐の生活は大好きです。

#### 聞き手より一言

とても気さくにお話を聞かせていただき、とても楽しい魅力のある会話でした。あえて讃岐弁の表現のまま記しましたが、うまく感じが出たでしょうか。



## 箱根路を思う

藤井 一博 (平成5年卒)

平成七年の正月、幼い頃からの夢であった箱根駅伝に出場することができました。高高のクラス文集にも「胸にでっかいWをつけて走るぞ!!」と宣言していたことが実現したのです。

初めての箱根駅伝は、ただ沿道の声援のものすごさに驚くばかりで、沿道の人があなでくれる、山梨学院とのタイム差を追いかけて走ったという感じでした。タスキをもらってすぐ、観客の多さに圧倒され、日頃、冷静だと思っていた私も、自分自身を見失ってしまい、前半の10キロをかなりのハイペースで入ってしまいました。それにもかかわらず、耳に入ってくる山梨学院との差は広がっており、精神的に大きなダメージを受けました。このままのペースで最後までいけるだろうか、という不安が一気に襲ってきました。

後半に入ても沿道の人並はとぎれることはなく、頻繁に山梨学院とのタイム差を教えてくれましたが、その差はどんどん広がっていました。私の不安は適中し、何とかしなければと思っても、前半のオーバーペースがたたり、体は全く動きませんでした。苦しくて、何度も、妥協して力を抜きそうになりましたが、その度に自分がかけているタスキの重さを感じ、自分にむちを打ちながら走りました。

ラスト1キロを切り平塚中継所が近づくと、沿道はますます人垣が大きくなり、われんばかりの声援が耳についてきました。そんな中で私は、山梨学院に一分以上離された絶望感、一秒でも速くこのタスキを渡さなければ、という使命感やあせりなどの感情が入り乱れていました。ラストスパートをする時は、ただそんな思いに後を押されるように、すでに動かなくなった手足を無理やり動かしていました。やっとの思いでタスキをつないだ後は、自分の力不足を思い知られ、悔しさで一杯でした。

このように、私の初めての箱根駅伝は決して満足のいくものではありませんでした。しかし、あこがれの早稲田大学で、二年目にして箱根駅伝に出場させてもらえたということは、私の努力が、ある程度報われたのだと思います。そして、その努力の原動力となっているのは、高高での三年間で身につけたものなのです。

中学校時代に全国ランキング2位であった私は、高高に入っても全国レベルで走りたいと思っていました。高高的陸上部は、みんな勉強で忙しいため、他の高校のように全員そろって練習することは少なく、一人で練習しなければいけませんでした。その上、勉強の成績を維持することも容易なことではありませんでしたので、陸上と勉強の両立には大変苦労しました。しかも私の在学中は、新校舎と地下駐車場が工事中でしたので、運動場がなく、練習場所を確保するのも難しいことでした。中央公園で人をよけながら走ったのを思い出します。そして、毎日が走ることと勉強だけで過ぎていったという感じです。テスト期間中には、練習中の休憩時間に数学の問題と解いていたこともあります。さすがに、当初の目標であった、全国レベルで走るというわけにはいきませんでしたが、勉強と陸上の両立は私なりに達成できたと思います。この勉強と陸上の両立ということが、今の私の生活に役立っているのです。

早稲田大学競走部は、部員全員が高いプロ意識で競技を行っていますが、学生である以上、勉強もおろそかにすることもできません。私も所沢の合宿所から高田馬場まで、往復三時間近くかけて授業に出ていますが、箱根駅伝の20キロを走るための練習はとてもハードで、肉体的にも精神的にも追い込まれることがあります。しかし、高高時代の経験を生かし、少しづつではありますが、目標を達成しつつあります。

また、高高時代、孤独の中で一人練習していたことも、私の精神力を養うのにおおいに役立っています。早稲田大学競走部の練習も個人個人の自主性に任されている部分が大きく、私自身が練習に対し、厳しく自分を律することができなければ強い選手になることはできません。

今私がここで高い目標を持ち、日々努力を続けられるのも、高高時代に身についたものがあるからこそなのだと思います。

大学に入ってから何度も挫折しそうになりましたが、今回、箱根駅伝で走ったことにより、どんなに苦しくても目標に向って努力を続けることの大切さを改めて実感しました。次の箱根駅伝では必ず山梨学院に勝てるよう、日々の努力を続けていきます。そしてそのような私にいつも声援を送り、励まし続けてくれている高高時代からの友人たちに心から感謝し、それに報いるためにも走り続けていきたいと思っています。

箱根の次は、目指せオリンピック！

(早稲田大学政治経済学部3年)

# 実用／東京さぬきマップ

ふるさとは遠きにありて思うもの、とはいながら、東京でもふるさとの味を楽しむことはできます。さぬきうどんを中心に、郷土の先輩方のお店を紹介しました。ご利用いただくよう店主になりかわってお願ひいたします。

なお、紹介記事以外にも、業種別一覧表を掲載しました。

## ▶ 讃岐茶屋 ◀

〔店名〕讃岐茶屋

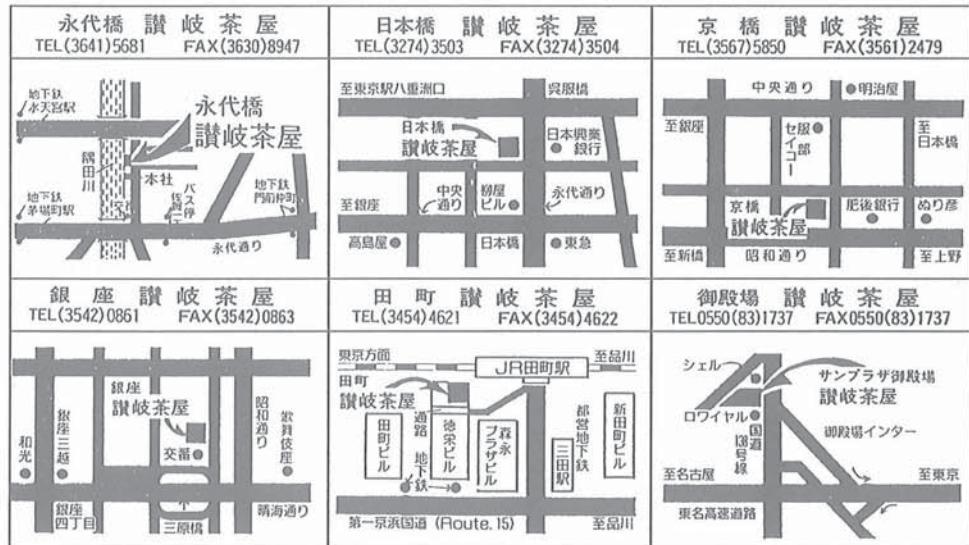
〔内容〕うどん割烹

〔営業時間〕11時～21時

〔定休日〕年中無休

〔予算額〕昼1,000円、夜6,000円程度が標準

〔店の所在〕地図参照



## ▶ 八十八茶屋 ◀

〔店名〕八十八茶屋

〔内容〕うどん割烹、皿鉢料理

〔営業時間〕11時半～22時

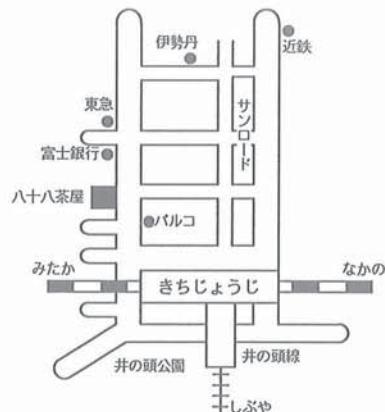
〔定休日〕日曜・祝祭日

〔予算額〕うどんすき食べ放題2,500円

皿鉢料理3,800円～

〔店の所在〕地図参照

☎0422-20-2588、21-7487



## ▶ 高松 ◀

〔店名〕高松

〔内容〕さぬきうどん、魚料理

〔営業時間〕11時～22時半

〔定休日〕日曜・祝祭日

〔予算額〕夜は料理で4,000円～6,000円程度

〔店の所在〕JR渋谷駅東南口より徒歩3分前、渋谷警察署裏

☎03-3406-0865

## ▶ 金比羅 ◀

〔店名〕金比羅

〔内容〕さぬきうどん

〔営業時間〕8時～翌朝4時

〔定休日〕年中無休

〔予算額〕宴会料理3,000円～4,000円

〔店の所在〕JR浜松町駅より徒歩3分、都営地下鉄線大門駅より徒歩1分

☎03-3432-1047





## ► 鳥 仲 ◀

〔店 名〕鳥仲

〔内 容〕焼き鳥、鳥料理

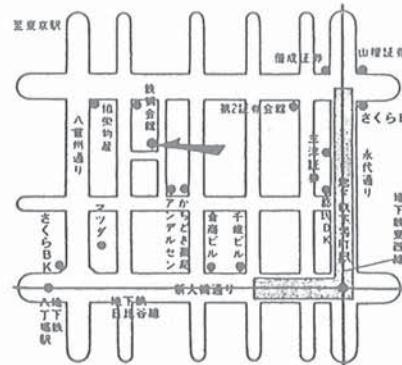
〔営業時間〕17時～23時

〔定 休 日〕土・日曜・祝祭日

〔予 算 額〕飲み物を含め2,500～3,000円程度

〔店の所在〕地図参照

☎03-3661-8748



## ► パークパスタ ◀

〔店 名〕パークパスタ

〔内 容〕スパゲティ、オープン料理、ケーキ

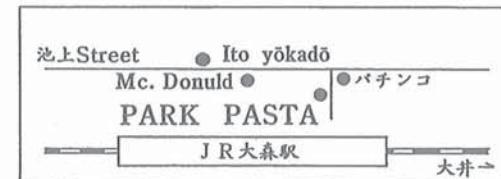
〔営業時間〕11時半～23時

〔定 休 日〕毎週月曜日

〔予 算 額〕1,500～2,000円、パーティ3,000円～

〔店の所在〕地図参照

☎03-3776-5596



## ► アイビー ◀

〔店 名〕アイビー (IVY)

〔内 容〕スナック

〔営業時間〕19時～翌朝1時

〔定 休 日〕日曜・祝祭日

〔店の所在〕地図参照 ☎03-3983-2720

〔蛇 足〕マスターは高柔道部OB。店には、  
美人のお嬢さんが毎日出ている。



## ► カニワトーキョー ◀

〔店 名〕カニワトーキョー

〔内 容〕婦人バック、雑貨、洋服販売

〔営業時間〕10時～19時

〔定 休 日〕日曜・祝祭日

〔おすすめ品〕フランス製時計 Obrey、フランス製バック ANOUK

〔店の所在〕地図参照

☎03-3401-4509



## ► J R 四国ワープラザ日本橋 ◀

〔店 名〕J R四国ワープラザ日本橋

〔内 容〕ツアー企画、切符の手配等

〔営業時間〕10時～18時半、土曜13時まで

〔定 休 日〕日曜・祝祭日

〔おすすめ品〕帰省の切符等の手配いたします。

〔店の所在〕地図参照

☎03-3275-0686



# 東京さぬきマップ<業種別編>

経営者欄は経営者またはその配偶者の氏名です。

病院					
医院名	内容	TEL	住所	経営者	卒業
宮本歯科医院	歯科	03-3294-6265	千代田区内神田1-5-8 奈澤ビル4F	宮本博光	昭27
小佐野歯科医院	歯科	045-934-3003	横浜市緑区中山町68-1	小佐野千重子	昭45
さがら矯正小児歯科	矯正歯科・小児歯科	0466-33-7101	藤沢市辻堂1648-6 国信ビル2F	相良直子	昭47
たけなが小児歯科	小児歯科	0427-71-1200	相模原市橋本3-29-14	竹永企美子	昭43
雨宮歯科医院	歯科	0425-84-3741	日野市日野本町2-20-13	雨宮高志	昭42
河崎歯科医院	歯科	03-3754-8211	大田区久が原4-18-6	河崎浩文	昭27
中廣デンタルクリニック	歯科	03-3591-5822	有楽町駅前晴海通り 常磐ビル	中廣哲也	昭46
山田矯正歯科クリニック	矯正歯科	03-3464-1166	渋谷区道玄坂 井門ビル	山田 熟	昭32
北村歯科	歯科	03-3703-0808	世田谷区深沢3-3-13	北村昌敬	昭49
吉本歯科医院	歯科	043-292-6480	千葉市緑区おゆみ野4-41-8	吉本彰宏	昭53
吉川整形外科	整形外科	0286-61-1611	宇都宮市和泉ヶ丘1-15-21	吉川定雄 吉川和子	昭22 昭31
坂戸眼科医院	眼科	0492-83-4303	坂戸市間間1-1-13	塙田孝	昭41
かまたクリニック	小児科・皮膚科・内科	0471-59-6151	流山市南流山3-16-1	鎌田恵子	昭41
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	0466-22-3887	藤沢市南藤沢20-20-401	橋本幸久	昭42
はしもとクリニック					
川原医院	外科	048-685-5525	大宮市堀崎町1163-1	川原一仍	昭34
玉木医院	医院	03-3990-3977	練馬区春日町5-6-14	玉木敬三	昭20
しじら医院	内科・小児科	043-422-5519	千葉市若葉区松町488-2	篠原桂三郎	昭16
菊池眼科医院	眼科	0426-43-0325	八王子市子安町1-34-12	菊池洋子	昭35

法律事務所					
事務所名	内容	TEL	住所	経営者	卒業
足立・ヘンダーソン・宮武・ 藤田法律事務所	弁護士	03-5473-3970	港区西新橋3-24-10 ハリファックス御成門ビル3F	宮武敏夫	昭31
濱田法律事務所	弁護士	03-3221-6261	千代田区平河町1-8-2-604	濱田清	昭32
浅井洋法律事務所	弁護士	03-3546-1390	中央区銀座7-14-15 SKビル5F	浅井洋	昭35
岡崎・大橋・前田 法律事務所	弁護士	03-3252-6866	千代田区神田淡路町1-9-402	岡崎洋	昭37
河野法律事務所	弁護士	03-3582-0621	港区赤坂1-3-5 赤坂アビタシオンビル8F	河野悦子	昭43
植松法律事務所	弁護士	03-3508-8973	港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平会館ビル8F	藤井富弘	昭14

法律事務所					
事務所名	内容	TEL	住所	経営者	卒業
藤井法律事務所	弁護士	03-3431-2267	港区新橋4-31-7 中村ビル3F	藤井富弘	昭26
梶谷総合法律事務所	弁護士	03-3212-1451	千代田区丸ノ内2-4-1 丸ビル672区	岡正昌	昭49
赤澤・榎本法律事務所	弁護士	03-3211-4839	千代田区丸ノ内2-7-3 東京ビルディング5F 543区	赤澤俊一	昭16
大西昭一郎法律事務所	弁護士	03-3212-0841	千代田区丸ノ内3-1-1 国際ビル 727区	大西昭一郎	昭33
西川紀男法律事務所	弁護士	03-3587-1841	港区赤坂3-2-6 パコダビルディング6F	西川紀男	昭34
ひびき法律事務所	弁護士	03-3355-2268	新宿区四谷2-2 四谷フジビル3F	小倉良弘	昭39

税務・会計・特許・司法書士・不動産鑑定・測量・設計					
事業所名	内容	TEL	住所	経営者	卒業
前田会計事務所	税務・会計・経営	03-3265-9471	千代田区九段北4-1-5-807	前田勇	昭38
大東公認会計士事務所	公認会計士	0429-28-3002	所沢市山口5063-1-48-4-20	大東安都子	昭47
丸西税理士事務所	税理士	03-5699-3111	葛飾区金町6-12-13-304	丸西和幸	昭43
大谷勉税理士事務所	税理士	03-5450-2753	世田谷区経堂4-39-10-301	大谷勉	昭26
岡田輝彦公認会計士・税理士事務所	税務・会計	03-3263-0856	千代田区麹町1-3	岡田輝彦	昭14
税理士山口修事務所	税務・会計	03-3903-4111	北区赤羽1-37-13 城北ハイツ	山口修	昭33
近藤和彦会計事務所	税務・会計	03-3835-0025	台東区上野5-15-12	近藤和彦	昭30
山本亮一特許事務所	特許・審判	03-3270-0858	中央区日本橋本町4-4-11	山本亮一	昭7
和泉司法書士事務所	司法書士	045-242-9499	横浜市中区花咲町1-46-1 G S プラザ桜木町1104	和泉正俊	昭41
松尾和代事務所	司法書士・行政書士	0463-22-3355	平塚市明石町13-25	松尾和代	昭42
三田総合事務所	司法書士	03-5484-0272	港区芝5-30-1-407	松井名保美	昭49
太田公証役場	公証人	0276-45-8469	太田市飯田町1245-1	松尾英夫	昭26
香西不動産鑑定所	不動産鑑定	03-3976-2107	板橋区成増1-26-5 富建ビル601	香西熟	昭33
(株)CSS技術開発	測量・測量ソフト開発	0423-73-1292	多摩市乞田1251 サークビル	高城雄三	昭45
日新技術(株)	土木設計	03-3371-5991	新宿区西新宿7-17-6 第3和幸ビル3F	恵比寿忠	昭42
(株)木村俊彦構造設計事務所	建築構造設計	03-3490-3116	品川区西五反田7-24-4 KUビル7F	木村俊彦	昭19
シバ設計	一級建築士	03-3476-4371	渋谷区道玄坂1-15-3-319	柴原力	昭34
(株)KG総合計画研究所	建築設計事務所	03-3445-1768	港区高輪2-16-52 パラシオン高輪612	賀家淳子	昭50

その他の業種					
事務所名	内容	TEL	住所	経営者	卒業
(株)美巧社	印刷業	03-3813-8231	文京区小石川2-2-14	池上晴英	昭45
(株)三州社	印刷・出版	03-3433-1481	港区芝大門1-1-21	井関賢次	昭29
井上美術印刷(株)	印刷業	03-3819-0821	荒川区町屋1-4-9	井上榮	昭33
(株)ローカルエネルギー開発研究所	経営者向け成人病対策セミナー、栄養指導	0425-76-9791	国立市西1-17-20	琢磨忠嗣	昭32
名の光の家	ネーミング・四柱推命学研究	0473-53-5889	浦安市日の出6-G-803	辻従美子	昭37
ホテル・コスモ横浜	ホテル	045-314-3111	横浜市西区北幸2-9-1	平山敦子	昭47
創クリエーション	コンピュータソフト開発	0473-49-3073	松戸市新松戸3-309 ベルナーデ201	野口隆	昭51
パソコンショップばんちょ	コンピュータソフトウェア・周辺機器の輸入販売	03-3980-2180	豊島区南池袋1-17-1 崎本ビル6F	安倍明子	昭58
ミュージック・オフィス・ショウポート	ミュージカル・オペラ出演 歌唱指導	045-902-4530	横浜市緑区あざみ野4-32-14	山本千津	昭42
平川音響(株)	映像音響機器・テレカ	03-3232-3001	新宿区大久保2-12-12 杉ハイム169	平川峰子	昭42
(株)ジェイ・コミュニケーション	同時通訳・翻訳 国際会議運営	03-3435-7720	港区芝大門2-12-5-904	多田千雪	昭42
リンクルインターナショナル(株)	モータースポーツショップ	03-3223-2226	世田谷区代田4-9-18	関日出男	昭42
久保事務所	政治評論家	03-5411-2429	港区南青山2-2-15 ウィン青山1131	久保文男	昭18
若松商事	商工経営・創業試運転 コンサルタント	0429-95-0454	所沢市久米513-13	若松昭二	昭19
(株)目耕堂	書店	0467-23-0331	鎌倉市小町2-10-1	末澤和子	昭27
プレミアム	消費者動向調査	03-3318-7575	杉並区阿佐谷南1-6-13	中川明子	昭49
カツミ堂写真機店	カメラ	03-3571-0468	中央区銀座5-9-1	藤本節子	昭19
関口音楽教室	ピアノ	03-3993-1547	練馬区早宮3-52-2	関口玄子	昭37
市原音楽教室	ピアノ	03-3867-9765	練馬区大泉町1-46-18	市原綾子	昭37
光葉品(株)	薬局	0471-73-0935	柏市光ヶ丘4-2-1	村上瑛子	昭28
打越事務所	経営コンサルタント	03-3361-7510	新宿区西新宿7-5-5 プラザ西新宿311	打越祐	昭19
(株)清進スクール	学習塾	03-3926-4678	練馬区中村北3-23-5 NGビル3F	神部順子	昭61
ペアーズ英会話スクール	英会話・翻訳	0298-58-0208	つくば市並木3-11-8	奥村真知	昭50
(株)東京コスモ不動産	総合不動産業	03-3360-4321	新宿区西新宿8-14-17-1112	薦田快公	昭29
(株)和泉組	内装一般	03-3484-4880	世田谷区千歳台3-11-7-101	和泉克應	昭43
(株)マーサープランナー	子供服製造	03-3479-8439	港区北青山2-13-3 榎本ビル101	稻田吉孝	昭43

祝

## 第13回東京玉翠会総会



高松中学校



高松高等女学校



高松高等学校

各地の玉翠会だより

## 関西玉翠会の現況

関西玉翠会事務局長 岡 健（昭和39年卒）

第13回東京玉翠会総会が開催されるにあたり、心よりお慶び申し上げます。

当京阪神地区においては、永らく玉翠会京阪神支部として活動を行い、諸先輩のご尽力により年々発展を重ねて來たのであります。平成6年4月から「関西玉翠会」と改名し、101年目からの新たな出発をしたところであります。

この関西玉翠会の第1回総会は昨年11月17日に開催されましたが、幹事役の昭和38年卒の諸先輩（代表岡部敦弘氏）のご尽力により、400名に及ぶ参加者を得て、新たな出発にふさわしい総会となりました。なお、この総会において昭和34年以来、会の運営の中心となってこられた芦原義重会長（大正7年卒関西電力名誉会長）が勇退されて、関西玉翠会の名誉会長に就任され、会長には藤井義弘氏（昭和18年卒日立造船社長、現同会長）が就任されました。

年が明けて今年1月には、私共京阪神地区に居住する者にとって生涯忘ることのできない阪神淡路大震災が発生いたしました。平成6年度関西玉翠会の事務局を担う、昭和38年卒の先輩が中心となり、年次幹事の諸先輩を通じて会員の皆さんに対するお見舞を兼ねて、その安否を確認いたしました結果、これまでのところ、不幸にしてお亡くなりになられた方が1名の他、多くの会員の方々が住居の全損、半損等の被害を受けられたことが判明しております。

年次毎に横の連絡をとりあって、被災された方々に支援を行う一方、関西玉翠会としても、年次幹事会の決議を経て、毎日新聞社会事業団を通じて兵庫県等に義援金を寄付いたしました。大震災から、早や6カ月になろうとしていますが、被災された会員の皆さん的一日も早い復旧を心からお祈り申し上げているところです。

さて、平成7年度は、3月4日の年次幹事会での引継ぎにより、昭和39年卒の私達が事務局を担当することとなり、現在、10月21日の総会開催に向け、準備委員会会長木村邦彦君のもと私達高高39会関西支部のメンバーが、昭和38年卒を中心とした諸先

輩のご指導をいただきながら、4つの分科会に分れて準備に取組んでいるところです。

未曾有の大震災により、家屋が損壊したり、または、ライフラインの途絶等で生活上相当の不便を被っておられる会員が多くおられる中での総会開催ですので、1年振りの、または久方振りの元気な姿での再会を喜びあうと共に、再生への英気を養える場にしたいと考えております。

最後になりましたが、東京玉翠会の益々のご隆盛と会員の皆様の今後のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

### 関西玉翠会第2回総会

日 時 平成7年10月21日（土）予定

11：30～14：00

場 所 大阪全日空ホテル



高高39会・関西支部  
(平成7年3月年次幹事会後)

各地の玉翠会だより

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

## 岡山玉翠会の現況

事務局長 入船 健一

第十三回東京玉翠会総会が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

岡山玉翠会の平成六年度の総会は、十月二十九日に、天下の名園である後楽園と鳥城として県民に親しまれている岡山城が眼下に眺望できる岡山プラザホテルに於て開催いたしました。出席者は毎回、七十名程度のささやかな集りです。

各支部と同じように総会のかなり前から幹事会を数回、開催して計画を立てて検討していただきますが岡山支部の場合、当初は卒業年度による当番幹事制でスタートいたしましたが途中から当番卒業年度で協力いただける会員が見当らなくなり、現在は発足当時からの役員、幹事の方々のご努力により継続して開催しています。

辻会長は岡山大学医学部第一内科の教授で日本肝臓学会の理事をはじめ厚生省、文部省の研究班など肝臓病の権威者として多忙を極めており総会にも欠席することがありますが今回は久しぶりに出席されて、松橋校長先生、福家教頭先生、玉翠会本部の大西会長ともお互いに楽しそうに懇談されていたのが印象的でした。出席者から毎回聞かれる声は岡山の総会はサロン的な雰囲気でみんながリラックスして讃岐弁と岡山弁で会話が楽しめるのがありがたい言われています。

また、瀬戸大橋開通後は岡山と郷里香川はJ Rマリンライナーで一時間という通勤圏になり新規加入会員が少なくなっていることと毎回の出席者が固定化される傾向になっているのは否定できず、その対策が今後の課題です。その反面、京阪神在住の方とか高松など県外からの参加者が比較的多いという結果がでています。

総会以外では、会員有志による新年会を行いました。出席者も多く時間の経つを忘れて昔話しに泣いたり笑ったりの新春に相応しい楽しい会になりました。

今年度の総会は、来る十月十四日（土）に岡山プラザホテルで開催することが決定しています。



平成6年度 岡山玉翠会総会 平成6年10月29日 於 岡山プラザホテル

各地の玉翠会だより

## 徳島玉翠会の現況 ～ご盛会を祝って～

徳島玉翠会会長 松浦 健司

東京玉翠会の盛大な第十三回総会をお祝い申し上げます。

去年の今ごろは猛暑にあえいでいたのを思い出しますが、今年の首都圏はいかがでしょうか。物騒な警察庁長官狙撃事件、地下鉄サリン、青酸ガス事件などの恐怖を乗り越え、日々ご活躍のことと存じます。この原稿を書いている五月中旬までの、おどろおどろしいオウム騒動が解決して、すっきりした気分で心から楽しめる総会を迎えておられるよう祈りつつ、のごあいさつです。

昨年ご報告しましたように、徳島玉翠会は母校の創立百周年の節目の年を契機として平成五年五月に産声を上げ、さる五月二十日、三回目の総会を開きました。東京や関西玉翠会のようなマンモス会と違い、総勢四百人に満たない小さな組織だけに、総会といっても四十人余りの出席で、その代わりほとんど全員が顔を合わし、親しく語り合える家族的な雰囲気の集いるのが特徴です。

県庁や国の出先機関、公、私立大学、県内有力企業、会社などの要職に就かれている会員が多く、少しオーバーにいえば、徳島のリーダーシップをわが会が握っているといえましょう。

残念なのは発会して日が浅く、規模も小さいことから、総会以外にはほとんど活動らしい活動ができていないことです。阪神大震災の時などは関西玉翠会の皆さんの所へ救援に駆けつけられるくらいの行動力が欲しいところですが、まだそこまでの余力がありません。差し当たりは会報の定期発行、せめて年一回くらいの懇親の行事を持ちたいと考え、当面の課題としています。

徳島玉翠会の着実な前進を目指して、会員一同力を合わせようと総会で申し合わせたところです。どうか皆さんのご協力ご支援をお願いします。

最後になりましたが、東京玉翠会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念します。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※



徳島玉翠会第3回総会  
開催日 平成7年5月20日(土)  
場 所 阿波観光ホテル

# 東京玉翠会ゴルフコンペ開催報告

年代を超えた交流——恒常化へ組織づくりに動く

去る5月27日、快晴・微風の絶好のゴルフ日和のもと、33名（うち高中関係9名）の参加を得て、新緑映える鶴ヶ島カントリークラブ（埼玉県）において、東京玉翠会のゴルフコンペが開催された。過去に幹事有志によるコンペは開かれたことがあったが、総会担当幹事が中心になって会員に広く呼び掛けてのコンペは昨年初めて開催され、今回は2回目である。

参加者の最年長は昭和6年卒の松本俊英さん、最年少は53年卒の岡本尚佳さん、文字どおり年代・世代を超えて、和気あいあいプレーを楽しんだ。松本さんは、年齢を感じさせない素晴らしいショットを繰り出し、周囲の感嘆を誘っていた。

コンペはペリア方式で行われ、38年卒の前田勇さんが栄えある優勝に輝いた。前田さんには宮井東京玉翠会会長の寄贈になる優勝杯が贈られた。また、20年卒の中村文俊さん、34年卒の三崎屋さんから賞品の提供もあり、諸先輩のご好意に幹事一同感謝することしきりであった。

コンペ後の懇親会では、楽しいゴルフ談議に、思い出話にと花が咲いた。今年は女性の参加がなかったのは寂しいとの声も聞かれた。また、今後のコンペのあり方も話題にのぼり、恒常的なものとして続けていくとの声が相次ぎ、東京玉翠会の中の同好会的なものとして、代表者も決め、組織も整備しようとの提案もなされた。

そのようなことを踏まえて、今後有志で組織のあり方を詰め、次回は今秋にも開催しようということになった。また、総会担当幹事から、女性も含めて交流の輪を更に広げるために、7月1日の総会会場に、同好会参加希望者の「登録申込みコーナー」を設けたいとの意向が表明された。

最後に、23年卒で野球部OBでもある丸吉幸也さんの一本締めで、再会を期し、楽しいコンペの幕が閉じられた。

（46年卒幹事記す）



（H7.5.27 於 鶴ヶ島カントリークラブ）



（コンペ後の懇親会）

## 高松中学校校歌

~~~~~ \* ~~~~~

(大正4年9月制定)

作詩 藤井 静夫

作曲 安田俊高

A musical score for 'Asahi' in G clef, 2/4 time, and B-flat key signature. The score consists of four staves of music with corresponding lyrics in Japanese:

- Staff 1: あーさひかがやくやしまやま さざなみ
- Staff 2: よするたまもうら へーいわみなぎるそのひび
- Staff 3: きせーいきあふるる そのひかり わがまか
- Staff 4: びやに一みちみちて いそしむけんじ

Below the fourth staff, there are two endings indicated by boxes:

- Box 1 (1.2.): いっせんよ
- Box 2 (3.): せひるがへせー

三

嚴冬霜雪色かへぬ  
紫雲の松を名に負へる  
我が中学の健兒尊よ  
堅忍不撓功遂げて  
屋島山頭いや高く  
名誉の旗を翻へせ

—

朝夕あふぐ碑は  
日嗣の皇子の行啓の  
千代に朽ちせぬ記念なる  
奮闘努力の健男児

—

朝日輝く屋島山  
小波寄する玉藻浦  
平和漲る其の響

# 高松高等女学校校歌

~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ \* ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~

(大正3年9月14日制定)

作詩 小原虎一

作曲 内藤蝶

みれどもあか一ぬたまものうら一ち  
ひろのそこ一にしづーくなる一そ  
のしらたま一のうる一はしき一き  
よ一きこころをみがかむみがかむを

四、

いや栄えゆく皇国の、  
生ける効ある御民ぞと  
仁慈あまねき大君の  
みこと畏み盡さむ  
盡さむをとめわれ

三

開くる御代の幸おほき  
身にはつとめもさはなれば  
うら若き日をたゆみなく  
をみなの業を習はむ  
習はむをとめわれ

—

朝夕仰ぐ屋島の山  
峰の上はるかにならび立つ  
その山松の色かへぬ  
高き操を守らむ

一  
、

みれども飽かぬ玉藻の浦  
千尋の底にしづくなる  
その白珠の麗はしき  
清き心をみがかむ  
みがかむを止められ

## 高松高等学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(昭和26年12月17日制定)

作詞 河西 新太郎

作曲 芥川 也寸志

*con brio (J=108)*

三、仰ぐ紫雲の松風に  
雪持笛のさみどりに  
おお希望わく若人が  
自由と愛の血に燃ゆる  
わが高高的自治を見よ

二、平和かがやく波よせて  
鏡と澄める玉藻浦  
おお純潔の若人が  
真理の道を究めゆく  
独立自主の熱意見よ

一、世紀新たな陽に映えて  
朝雲匂う屋島山  
おお眉清き若人が  
向学の念搖ぎなく  
澆刺擧る意氣を見よ

## 高松高等学校

朝日輝く（校友会の歌）

~~~~~\*~~~~~

一、朝日輝く屋島山  
さざ波寄する玉藻浦  
平和みなぎるその響き  
精気あるその光  
我が学舎に満ち満ちて  
いそしむ健兒一千余

二、嚴冬霜雪色変えぬ  
紫雲の松を名に負える  
我が高高的健兒らよ  
堅忍不撓功遂げて  
屋島山頭いや高く  
名譽の旗をひるがえせ

(注) 校友会の歌は、これまで「作曲荒井三郎」として掲載してきましたが、昨年の  
本会誌掲載インタビューにおいて菊村紀彦氏が「作曲大中寅二、編曲荒井三郎」  
と発言されているため、今回は、作曲者名を削除いたしました。

# 東京玉翠会会則

ふるさと  
1. うさぎ追いし彼の山  
小鰯な釣りし 彼の川  
夢は今もめぐりて  
忘れがたき ふるさと  
2. いかにいます 父母  
つつが無しや友がき  
雨に風に つけても  
思い出づる ふるさと

高高 高高  
1. 高高 高高 高高 栄えあるその名  
高高 高高 高高 我等が母校  
2. 高中 高中 高中 栄えあるその名  
高中 高中 高中 我等が母校  
3. 高女 高女 高女 栄えあるその名  
高女 高女 高女 我等が母校  
4. 高高 高高 高高 栄えあるその名  
高高 高高 高高 我等が母校

ここは讃岐か  
1. ここは讃岐か 高松街か  
高松街なら中学は高中  
2. 中学高中の 書生さんは  
度胸一つの男伊達  
3. 度胸一つでバンド（明善）の前を  
歩いて行きます作業服で  
4. 作業服なら 高中の育ち  
ボロは俺らの旗印  
5. ボロをまとえど 心は錦  
どんなことにも恐れはしない  
6. どんなことにも 恐れはせぬが  
可愛いあの娘にやかなわない  
7. 可愛いあの娘は いつでも捨てる  
國のためなら命までも  
8. 命捨てれば 名前が残る  
中学高中の名が残る  
ついでに 俺らの名も残る

お玉杓子  
1. お玉杓子は蛙の子  
なまずの孫ではないわいな  
それが何より証拠には  
後で手が出る足が出る  
2. 見よや高中の健男児  
見よや高高的健男児  
腕をふるうはこの時ぞ  
フレー フレー  
フレー フレー フレー

## 第一章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は東京玉翠会という。

(目 的)

第 2 条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。

(1) 会員相互の連絡、親睦を図るための会合、行事

(2) 会報、会員名簿の発行

(3) 母校の発展に寄与すると認められる事業

(事 務 局)

第 4 条 本会の事務局を東京都内に置く。

(会則改正)

第 5 条 本会則の改正は幹事会の決議による。

## 第二章 会 員

(会 員)

第 6 条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校（以上五校を母校という）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下通常会員という）ならびに母校の旧職員（以下特別会員という）で東京都及びその周辺に在住する者をもって組織する。

(部会の設置)

第 7 条 1 第 3 条の事業を行うため母校別の部会を置くことができる。

2 部会の運営はその所属会員の協議による。

(会 費)

第 8 条 1 通常会員は年会費を納入しなければならない。

2 年会費の額は、毎年常任幹事会の決議によりこれを定める。

## 第四章 会 議

### 第三章 役 員

#### (役 員)

第 9 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 4名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 事務局長 1名
- (5) 幹 事 その員数は次条第2項の定めによる
- (6) 監 事 3名

#### (役員の選出)

第 10 条 1 会長及び副会長並びに監事は総会において選出する。

- 2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により各1～2名を選出する。
- 3 常任幹事は会員の中より会長が指名する。
- 4 常任幹事のうち1名を事務局長、1名を会計担当として会長が指名する。

#### (任 期)

第 11 条 役員の任期は2年とし重任を妨げない。但し補欠により就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

#### (役員の職務)

- 第 12 条 1 会長は本会を代表し、会務を統括する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは会長の職務を代行する。
- 3 常任幹事は常任幹事会を構成し重要な事項の審議、決定を行う。
- 4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。
- 5 監事は本会の会計を監査する。

#### (総 会)

第 13 条 1 総会は会長の招集により毎年1回開催する。

なお必要ある場合には臨時総会を開催することができる。

2 総会においては、次の行事を行う。

- (1) 会務及び会計報告
- (2) 会員の親睦を図る行事
- (3) 本会の運営に必要な事項の決定

#### (幹事会・常任幹事会)

第 14 条 幹事会、常任幹事会は必要の都度会長が招集する。

#### (議 長)

第 15 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議長は会長があたる。

#### (議 決)

第 16 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

## 第五章 会 計

#### (会 計)

第 17 条 本会の会計は年会費及び寄附金その他の収入による。

#### (会計年度)

第 18 条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終る。

## 第六章 そ の 他

#### (顧 問)

第 19 条 1 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。

2 顧問は会議に出席し意見を述べることができる。

## 附 則

第 1 条 本会則は昭和58年6月25日より施行する。



## 第13回東京玉翠会総会幹事を担当して

仁木 壮 (昭和46年卒)

我々46年卒の総会担当幹事は、昨年の秋、45年卒の先輩から引継ぎを受けて以来、第13回総会の開催に向けて準備を進めてまいりましたが、なんとか総会開催にまで漕ぎ着けることができ、一同感慨深いものがあると同時に、多くの皆様への感謝の気持ちで一杯です。

高中部会、晩翠部会及び各学年の幹事の皆様には、度々の両国での幹事会、その間の案内状の発送・整理、広告集め、景品調達、名刺広告等々大変なご尽力、ご支援をいただきました。そして、広告掲載、景品提供等をいただきました皆様、寄稿その他会報づくりに御協力いただきました皆様、本当に有り難うございました。宮井会長はじめ役員の皆様にも温いご指導をいただきました。皆様のお陰で今日の日を無事迎えることができたと思っております。

さて、今年の総会幹事を担当するに当たって最初に考えたことは、諸先輩が築き、育んでこられた東京玉翠会という素晴らしい「宝」を、少しでもより良いものにして引き継いでいければということでした。昨年の先輩がうち出されたいろいろなアイデアもふくらませ、更に前進させたいと考えました。

今年の総会のテーマについては、この会報の冒頭にその趣旨を掲載しておりますが、東京玉翠会の活動として、年代・学年を超えた交流を深め、結び付きを更に強めていきたいとの思いを多くの先輩が抱いておられることを感じておりました。総会が、そのような交流活動、結び合いの契機ともなればいいのではないか、そんな気持ちも込めて、今年の総会のテーマを決めました。そして、総会会場にゴルフ、囲碁等の同好会の「登録申込みコーナー」を設け、参加者名簿に「一口伝言コーナー」を作成してみた次第です。

本日は至らない点が多々あろうかと思いますが、本日のこの総会が、旧交を温められるとともに、新たな出会い、新たな結び合いの場ともなることを、幹事一同、心から願っております。

最後になりますが、広告集め等の面で我々をバックアップしてくれた高松の46年卒の同期の皆さん、本当にありがとうございました。

## 寄贈図書目録

皆様に御協力いただきました母校図書購入資金で下記の図書が、特別コーナーを設けて揃えられています。今年もなにとぞ御協力をお願い致します。

| 年度   | 出版社         | 書名                             | 卷数  |
|------|-------------|--------------------------------|-----|
| S 61 | 筑摩書房        | ちくま少年図書館                       | 100 |
| 61   | 東大出版        | 講座「日本思想」                       | 5   |
| 62   | 朝日新聞社       | 「世界の地理」及び別巻付録                  | 12  |
| 62   | 河出書房        | 「文芸読本」「自然読本」                   | 25  |
| 63   | みすず書房       | 神谷美恵子全集                        | 13  |
| 63   | 集英社         | 梅原 猛全集                         | 20  |
| 63   | 集英社         | 私の古典                           | 22  |
| 63   | 集英社         | シートン動物記                        | 9   |
| H元   | 筑摩書房        | 宮沢賢治全集                         | 17  |
| 元    | 小川出版        | 世界各国史                          | 17  |
| 元    | 清水書院        | 人と歴史シリーズ                       | 52  |
| 元    | N H K 出版    | 驚異の小宇宙・人体                      | 8   |
| 2    | 未来社         | 宮本常一集                          | 43  |
| 2    | 平凡社         | 東洋文庫「日本の古典」                    | 10  |
| 2    | 平凡社         | 東洋文庫「日本の風俗と社会                  | 13  |
| 3    | 平凡社         | 東洋文庫「アラビアン・ナイト」                | 17  |
| 3    | 平凡社         | 東洋文庫「智恵の七柱」                    | 3   |
| 3    | 平凡社         | 世界の民族                          | 20  |
| 4    | 平凡社         | 南方熊楠全集                         | 12  |
| 4    | 角川書店        | 鑑賞日本古典文学                       | 36  |
| 5    | 科学新興社       | モノグラフ数学                        | 26  |
| 5    | 講談社         | 世界の大遺跡                         | 13  |
| 5    | 河出書房新社      | 新文芸読本                          | 13  |
| 6    | 新潮社         | カフカ全集                          | 12  |
| 6    | 清水書院        | 人思想                            | 121 |
| 6    | O X F O R D | Oxford Children's Encyclopedia | 7   |

皆様の御芳志にたいして、心から厚くお礼を申し上げます。  
御芳志を上記の図書にかえて、「同窓会寄贈文庫」の銘を付し、在校生・職員等の閲覧に供しておりますことを御報告いたします。

平成7年4月 高松高校図書館

祝  
第13回東京玉翠会総会

第13回東京玉翠会に  
ご協力有難うございました  
物品等御寄贈戴いた方々  
(50音順・敬称略)

旭硝子株式会社  
綾菊酒造株式会社  
(株)エイコー  
大塚製薬株式会社  
香川県漁業協同組合連合会  
有限会社 笠井  
鐘紡株式会社  
キャノン販売株式会社  
ギャラリー22  
株式会社 宗家久ツ和堂  
株式会社 資生堂  
株式会社 CSS技術開発  
株式会社 甚助  
讃岐食品 株式会社  
セントラル硝子 株式会社  
トップパンムーア 株式会社  
帝国製薬株式会社  
株式会社 電通

日本電気株式会社  
日本ハム株式会社  
西野金陵株式会社  
株式会社 博報堂  
株式会社 原田毛皮  
平川音響株式会社  
株式会社 ホテルニューオータニ  
マルキン東日本株式会社  
丸紅株式会社  
三井海上火災保険株式会社  
三井・デュポンポリケミカル株式会社  
株式会社 三越  
株式会社 山一証券  
有限会社 吉岡源平餅本舗  
株式会社 ワカサギ  
昭和46年卒有志  
昭和47年卒有志



\*ビールは20歳になってから。  
あきかんは、リサイクルへ。 自動販売機による酒類の販売は午後11時から午前5時まで停止されています。アサヒビール株式会社



## 「幸せな食創り」をめざして…

「食」に対する欲求は、人間の欲求の中でも、とりわけ根源的なものだといえます。

この欲求の進化に伴う食生活の見直しや本質の追求は、

文化という形になって私たちの生活を潤しつづけてきました。

この食生活をあらゆる側面から応援し、幸福な生活づくりのお手伝いをする。

これが、日本ハムの提唱する、「幸せな食創り」です。



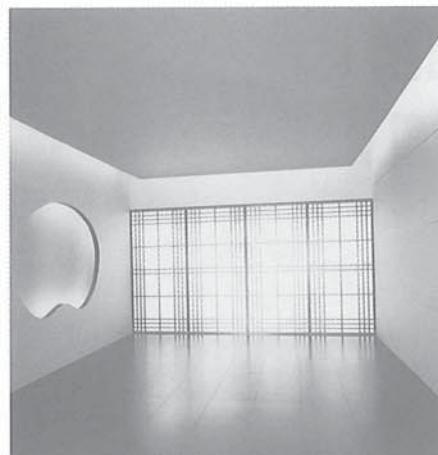
## 空間をトータルに提案する。



タイルカーペット(GA100)



カーペット パルザールW



WALL 茶美会コレクション(WM1331・32・34)



カーテン ピュコレクション(KT3007)



東リ株式会社

■本社 〒664 兵庫県伊丹市東有岡5-125 TEL.06(492)1331  
■東京営業所 〒105 東京都港区虎ノ門1-13-3 虎ノ門東洋共同ビル TEL.03(3503)6231



たとえば、街の緑化、  
電話や電気、  
河川流域の総合開発など  
豊かな生活環境つくりのために  
タダノの製品は活躍しています。

**ラブ。**

株式会社 タダノ  
本社／香川県高松市新田町甲24番地  
TEL(0878)39-5555(代表)  
営業本部／東京都墨田区亀沢2丁目4番12号タダノ四国ビル  
TEL(03)3621-7777(代表)

## いま、新時代の創造を目指して

私たち、日本セメントは新分野開拓をはじめ  
様々な分野での自主技術開発を  
推進しています。

- セメント
- 生コン
- 吹付けコンクリート用急結剤  
(アソノスバーナトム)
- 建材・鉱産品
- 地盤改良材
- ファインセラミックス
- プラント・エンジニアリング事業
- 健康スポーツ事業
- 不動産事業
- 電子・計測計量機器
- 情報処理事業
- バイオ関連(ハイテク農業)事業



日本セメント株式会社

本社 〒100 東京都千代田区大手町1-6-1(大手町ビル6階) ☎(03)201-1731(代表)

代表取締役 木村道夫

県民とともにあゆむ 郷土の新聞

# 四國新聞社

本社 高松市中野町15番1号  
TEL(0878)33-1111  
東京支社 東京都中央区銀座8丁目5番6号  
中島商事ビル3階 TEL(03)3572-3906(代)  
大阪支社 大阪市北区梅田1丁目3番1-400号  
大阪駅前第一ビル TEL(06)345-0241(代)  
西讃支社 丸亀市土器町東8丁目538番地  
TEL(0877)22-2266

瀬戸内に夢を描き、未来を創る RNC

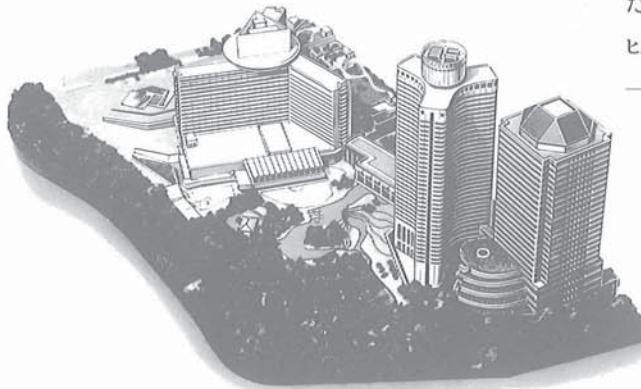


西日本放送株式会社

代表取締役社長 平井卓也

高松本社 〒760-91 高松市丸の内8番15号 ☎(0878)39-3939  
岡山本社 〒700 岡山市野田3丁目2番5号 ☎(086)244-0111

時間と距離を越えて、エグゼクティブの選ぶ街。



ホテル

国際ビジネスの舞台でご活躍の皆様のために、ビジネスサポート施設を、そしてヒューマンサービスを充実させております。  
—大切なお客様のために心を込めて…

ホテルニューオータニ東京

ご予約・お問合せは ☎ 0120-112211

*The New Otani*

〒102 東京都千代田区紀尾井町4-1 ☎ (03)3265-1111

旅のことなら何でも  
ご相談下さい。



JR券・航空券・宿泊券等から海外旅行まで、

皆様のご来店、お電話を心よりお待ちしております。

J R 四国

ワーププラザ日本橋

TEL 03 (3275) 0686  
FAX 03 (3275) 0542  
〒103 東京都中央区日本橋1丁目14番7号  
明治生命江戸橋ビル1F

営業時間 平日/AM10:00~PM18:30

土曜/AM10:00~PM13:00

日曜・祭日休み



プラスに  
なること  
考えよう。

大塚製薬



体のなかから、元気をみがく。  
(ベータカルチンドリンク)  
**ファイブミニプラス**

大鵬薬品

口にはしないけど  
お父さんが心配です。

お父さんにそつと体  
滋養強壮・肉体疲労時の栄養補給に  
**チオビタ®**  
ドリンク



# リクルートの求人情報誌

求人の総合情報誌

B-ing

(関東版、関西版、東海版、  
九州版、中国版)

女性のための求人情報誌

女性のための求人情報誌

(関東版、関西版、東海版)

働いて強くなる。仕事メディア

GATIN  
ガテン

(首都圏)

技術者のための仕事情報誌

T E C H  
B-ing

(全国)

地方の仕事と生活の情報誌

地方の仕事と生活情報誌

Uターン・ターン・ペイイグ

(首都圏、関西圏)

広告掲載のお問い合わせ、お申し込みは、

0120-401-166

RECRUIT

ANABUKI

穴吹の拠点は全国に41ヶ所。

ますます拡がる

安心のネットワーク。

快適なくらしを創る

△ 穴吹工務店  
ANABUKI

く設計・施工・施設大臣許可(特-6) 第1478号 宅地建物取引業免許建設大臣  
(8)第1545号 (社)日本高層住宅協会会員 (社)日本リースタグラフ協会会員  
本社:〒760 香川県高松市藤原町1-11-22 TEL:(0878) 35-7111 (代)  
支社: 関東・関西・中国・四国・九州  
支店: 東京・横浜・新潟・大阪・岡山・広島・徳山・松江・高松・松山・徳島・  
高知・福井・熊本・大分・宮崎・鹿児島  
営業部: 静岡・金沢・鳥取・島根・長崎  
ミサワホーム事業部: 高松・丸亀・松山・新居浜・大洲  
特建事業部: 高松・広島・岡山・松山・新居浜・徳島・高知・福岡

ANABUKI  
△ 穴吹グループ

△ 間違会社ノア吹住宅建材㈱ 香川県生産コン 香川アソノコンクリート㈱ 緑上工業㈱ 真田茂株石 真田吹瓦石 真田吹瓦ギラサービス 真田吹エンジニアリング アナブキコボレーションオストラリア  
△ 真田吹トステー 真田吹コミュニティ 真田吹産業㈱ 真田吹ハーリングサービス 真田吹人材派遣センター 真田吹エンタープライズ㈱ 真田吹コンピュータサービス㈱ 真田ブランドンダ穴吹  
△ スペースプランニング 学校法人穴吹情報報誌学校 学校法人穴吹専門学校 穴吹カレッジオブビジネス 学校法人穴吹専門学校 穴吹デザイン専門学校 学校法人穴吹カレッジ 学校法人穴吹コンピュータ専門学校  
△ 学校法人穴吹国際ビジネス専門学校 穴吹ビッグデザイン専門学校 学校法人穴吹国際交流センター 穴吹ビッグデザインアカデミー

△ 不動産間違会社 ロイヤルパークホテル高松 第一高松 岡山パークホテル 穴吹トラベルセンター 穴吹フィットネスクラブ ヴィラ塩江 ヴィラ北軒井沢エルウェーブ 穴吹コンピュータ  
教育所 穴吹進学ゼミナール 穴吹国際交流センター 穴吹ビッグデザインアカデミー

よいマンションの条件は  
創ると売るが一緒にだからです。

The diagram illustrates the process of creating good conditions for apartments. It features three main components arranged in a triangle:

- 創る (Create):** Represented by a sphere containing the text "SURPASS ANABUKI".
- 聞く (Listen):** Represented by a sphere containing the text "アフターメンテナンス".
- 売る (Sell):** Represented by a sphere containing the text "販売".

Arrows indicate the flow between these components:

- An arrow points from "Create" down to "Sell".
- An arrow points from "Create" up to "Listen".
- An arrow points from "Sell" left to "Listen".
- An arrow points from "Listen" right to "Sell".

Below the spheres, a box contains the text "ATD SYSTEM アナブキ トータルディベロップメントシステム".

販 売



Total Financial Planning, Service & Supply  
イカリ通商株式会社

代表取締役

天雲丈裕  
(昭和46年卒)

160 東京都新宿区荒木町11-24 KTビル3F  
TEL. 03(3226)7550 FAX. 03(3226)7551

## The Comfortable House



株式会社 ティヴァイス  
〒812 福岡市博多区下呂田町1-1日通ビル  
TEL: 092-282-0825

株式会社 ティヴァイスホームジャパン  
〒151 東京都渋谷区初台1-54-4-806  
TEL: 03-3373-4077

代表取締役社長  
吉野正良 (31年卒)



## 心のかよう広告づくり

企業と生活者の究極の利益は、正しい  
情報の伝達と、思いやりのある  
心のかよい合いから生まれます。  
博報堂の願いも、正しい情報を伝え、  
心のかよい合う広告をつくることです。



マーケティング・エンジニアリング企業を目指す  
広告相談室(03)3240-7777/電話番号案内(03)3240-8111  
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・新潟・静岡・広島  
高松・那覇・金沢・京都・鹿児島・松山・岡山・神戸・富山



京大進研グループ  
総責任者  
大森 隆治  
(S.46. 理数科卒)

■同窓生の御子弟の学習・受験に関して、東京～北九州  
まで、御相談に応じます。

■国内38校、海外4校のネットワークで、帰国子女対策  
も万全です。

■カナダ、インドネシア、バングラデッシュ  
ベトナム各国との輸出入業務も取扱っています。御関  
心のある方は、御一報下さい。



進学塾

**京大進研**

本社 〒573 大阪府枚方市星丘1-11-13  
TEL (0720) 48-5673(代)  
FAX (0720) 40-6687

株京大進研インターナショナル  
株京大進研ハイススクール  
株OTT. INVESTMENT CO. OF CANADA (カナダ)  
株KYODAI SINKEN J. T. C. PTE, LTD (シンガポール)  
株P. T. PRADNA DUTA NUSANTARA (インドネシア)  
㈲光隆社  
㈲マリンレジャークラブ MARINE JACK



## 中広デンタルクリニック

東京都千代田区有楽町1-6-6

常盤ビル4F

☎03-591-5822

院長  
中広 哲也

(高高46年卒)



内科・循環器科

## 三条山下内科医院

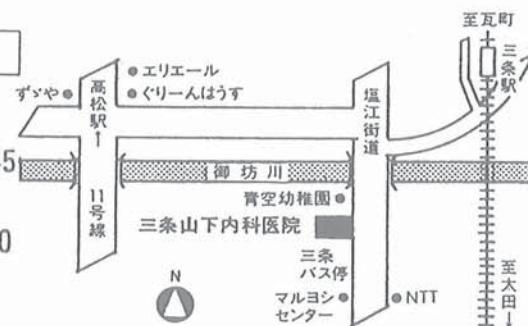
院長 山下 和彦 (S46年卒)

高松市三条町504-1 ☎(0878) 67-1201

### 診療時間

月～金曜日

午前8:30～午後5:45  
土曜日  
午前8:30～午後1:00



## 西川紀男法律事務所

弁護士 西川 紀男

(高高34年卒)

事務所 〒107 港区赤坂3丁目2番6号 パゴダビルディング6階

☎ (3587) 1841 (代)

液化ガスタンカー用タンク  
および  
ガスハンドリングプラント

陸上  
ストレージタンク

自己昇降式洋上作業台  
フレキシ・フロート  
セップ

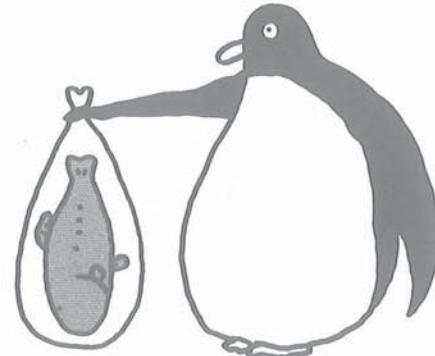
 泉鋼業株式会社  
IZUMI STEEL WORKS, LTD.

本社・工場 〒760 高松市朝日町5丁目2番3号  
電話(0878)22-1181(代表)  
FAX(0878)22-1189

東京営業所 〒104 東京都中央区八丁堀3丁目  
25番8号伊海田ビル5階  
電話(03)3553-5521(代表)  
FAX(03)3553-5523

代表取締役社長 富家 靖輔 (昭和37年卒)  
東京営業所所長 藤沢 雅人 (昭和45年卒)

東京の皆さん、たまには故郷のさかなを  
食べに帰って来てください。



なりたいなあ。もっと良い銀行に。

香川銀行

## 森岡クリニック

外科・胃腸科・内科・肛門科  
皮膚科・整形外科・理学療法科

森 岡 晓 (高高39年卒)

松戸市上本郷4384

TEL 0473-61-3161

## 矯正歯科

渋谷・道玄坂

# 山田矯正歯科クリニック

◎矯正歯科・一般歯科 土・日・祝日休診

院長 山田 勲 (高高32年卒)

渋谷区道玄坂2-28-4 井門インターナショナル6F

☎3464-1166(代)

麹町の一等地。洒落た欧風インテリアの中で、  
玄海灘直送の生魚料理をお楽しみ下さい。

●営業時間 11:30 AM ~ 2:00 PM  
5:30 PM ~ 11:00 PM

日曜日・祝祭日・休業

●昼 定 食 1,000円~

●夕 4,000円コースより、他一品料理有り

〒102 東京都千代田区麹町1-8 ATIビルB

PHONE: 03-3221-0505

山田 勲 (高高32年卒)



ウエルネス  
ニコロとからだの養生コンサート &セミナー  
帯津良一博士 + 宮下富実夫

東洋医学と西洋医学を統合した医療を実践する帯津良一博士のお話とヒーリングミュージックの第一人者  
宮下富実夫の演奏による知性と感性への心地よいリラクセーションのひととき。ホテルオークラのお好きな  
レストランでの食事付です。

1995年8月3日(木)  
会場 ホテルオーエクラ 桃山  
開場 11:00 開演 11:30  
料金 12,000円 (5,000円ホテルオーエクラ飲食料)

お問い合わせ ヒーリングバイプレーションinc. 〒03-3705-9721  
チケット取扱い チケットぴあ 〒03-5237-9999

生命エネルギーを活性化する音楽シリーズ



「陰陽五行音」¥3,000  
類古からある神秘的藝術を蘇  
にしておきのアルバム



「瞑想」¥3,000  
宮下富実夫の50歳を超えるロングセラー  
アルバム。聞き慣れると、よく眠れる♪

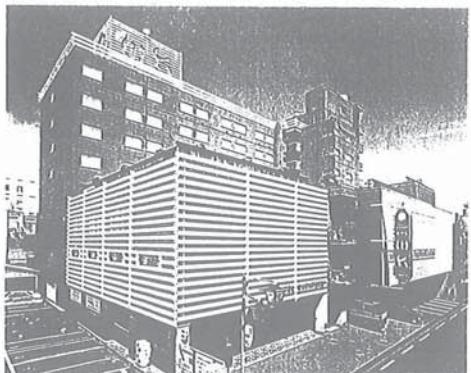
好評  
発売中

ヒーリングバイプレーションinc.  
代表取締役喜田圭一郎(聴45年)  
OFFICE 158 東京都世田谷区野毛1-17-7  
SALON 〒152 東京都目黒区八雲5-1-3 JASMAC studio

HEALINGVIBRATIONinc. presents Relaxation & Vital Energy for you. Tel 03-3705-9721 Fax 03-3705-2769

クオリティー追求による持続的成長と  
社会の発展に寄与する企業を目指す

日本旅館の情緒を添えて。



政府登録国際観光旅館(登旅第38号)  
国際観光旅館連盟加盟  
日本観光旅館連盟加盟 ホテル   
香川県高松市百間町 TEL(0878)21-5666(代表)  
FAX.(0878)21-7301宿泊・会議・宴会

会員募集

この度、当店では皆様のご要望により瀬戸内の新鮮な小魚を材料とし伝統の技法で練り上げた手造りの商品“さしみ天比羅”を製造元より直送するふるさとグルメ便の会員制を企画いたしました。

内容は下記の通りですのでご自宅用、ご贈答用ご進物、慶事にぜひご利用下さい。

- 1.会員イ) 毎月会員(月に1回)  
ロ) 隔月会員(2ヶ月に1回)  
ハ) その他(3ヶ月、もしくは6ヶ月に1回)

2.商品 2,000~5,000円

3.納品方法 毎月もしくは隔月、3ヶ月(6ヶ月ごとに宅配便にて発送)

4.支払方法 商品と同封の振込用紙にてお支払下さい。

5.入会金は 不要

6.脱会は 自由です。

7.特典 送料は全国一律500円  
(毎月、隔月会員に限ります)  
夏季(5~10月)のクール便代は無料

推薦者 香川県物産協会 東京支部 大阪支部



四国・屋島 東海屋

〒761-01 高松市屋島東町アーチェリー通り1121-1

TEL (0878)44-1112 FAX (0878)44-0188

## (株)スミダ文具店

多田 恵美子(昭和42年卒)  
(旧姓 関田)

隅田 秀一(昭和44年卒)

隅田 啓(昭和50年卒)

〒760 高松市丸亀町13-5  
TEL 0878(51)3826  
FAX 0878(22)4241

四国・屋島 東海屋の  
代表者 和泉 晴です  
<ひとこと>  
より安全 より確かな商品  
“さしみ天比羅”。

本物の味を食してみませんか  
まごろをこめてお届けいたします。

調理長 原田弘二です  
<ひとこと>  
毎日、毎日が勉強です。

この道、30有余年、練一筋頑張ってきました。  
(高松三越ウラ片原町魚徳本店で修業)

| 商品            | 商品              |
|---------------|-----------------|
| 上天比羅 @180円    | 細天比羅(白・紅) @ 80円 |
| えび天比羅 @160円   | あつ焼 @350円       |
| きくらげ天比羅 @140円 | かまぼこ(紅・白) @300円 |
| 竹輪 @150円      |                 |

祝

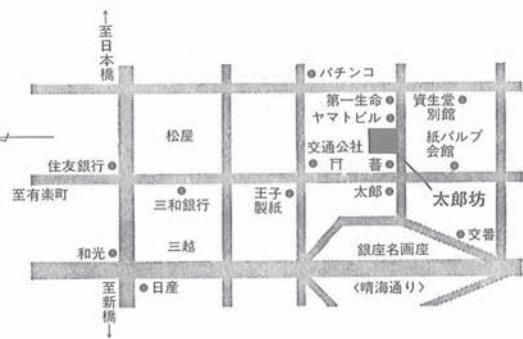
## 第13回東京玉翠会総会開催

### 東京晩翠部会

銀座  
ふぐ割烹

渋谷 清子(高女20年卒)  
(星野)

中央区銀座三ノ八ノ八  
電話 (3561) 3456



## 藤井法律事務所

弁護士 藤井 富弘

(高高26年卒)

〒105 東京都港区新橋1-18-12 新橋1丁目ビル3階

TEL 3593-7605

FAX 3593-7607

## 東高化成株式会社

取締役社長 増田 陽三

(高高26年卒)

本社 東京都中央区京橋2-8-21(金鳳堂ビル)

TEL 03(3563) 6271 (代表)

FAX 03(3563) 6278 〒104

## 近藤和彦会計事務所

税理士

近 藤 和 彦

(高高30年卒)

〒110 台東区上野 5-15-12 原ビル4F

☎ 03-3835-0025

## (株)フジカナエ

代表取締役 藤 本 烈 (高高30年卒)

東京事務所 東京都港区赤坂9-2-11-204  
TEL 03(5410)0222

## 足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所

弁護士 宮 武 敏 夫

(高高31年卒)

〒105 港区西新橋 3-24-10  
ハリファクス御成門ビル3F  
TEL 5473-3970

## 岡崎・大橋・前田法律事務所

弁護士 岡 崎 洋

(高高37年卒)

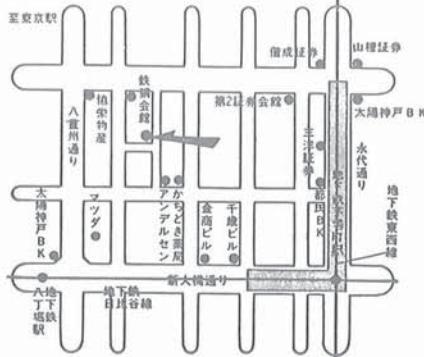
〒101 東京都千代田区神田小川町1-8-8  
六建ビル8F  
TEL (03) 3252-6866  
FAX (03) 3252-6865

鳥 とりなか 仲

中 野 京 子

(高高38年卒)

東京都中央区日本橋茅場町3-2-3  
邦山堂ビル  
TEL (3661) 8748



## 旅、こころ

パッケージツアーはもちろん、お客様のニーズにお応えたオーダーメイドの旅まで、  
旅のことならなんでもそろっています。

玉翠会及び関係者の方々には

パッケージツアーを3%引きさせていただきます。

お問い合わせは右記まで。

旅する人の気持ちで……新しいJTB。



For Your TravelLife

☎ 03<5512>0510

JTB海外旅行虎ノ門事業部  
第四支店営業1課

東京都港区虎ノ門1-26-5虎ノ門17森ビル 〒105

上下水道設計・土木設計・測量調査

## 日新技術株式会社

本 社 〒160 東京都新宿区西新宿7-17-6第3和幸ビル  
電話(03)3371-5991

FAX(03)3371-5994

高松支店 〒760 香川県高松市茜町15-20-305

電話(0878)31-0150

FAX(0878)31-0170

札幌事務所・狹山営業所

代表取締役  
恵 比 須 忠(S 42年卒)



## 自己実現へのロマン——いま、手軽なものに。 自分史出版のご案内

専門家や、技術スタッフ陣が

あなたの本づくりをゆたかに演出します。

東京支社長 池 上 晴 英(S 45卒)

株式会社 美巧社

総合印刷・出版

東京支店 〒112 東京都文京区小石川2-2-14 ☎ (03)3813-8231 FAX(03)3813-8234

本 社 〒760 香川県高松市多賀町1-8-10 ☎ (0878)33-5811 FAX(0878)34-1264

坂出支店 〒762 香川県坂出市旭町3-1-23 ☎ (0877)6-1005 FAX(0877)6-1005

INEX事業部 〒760 香川県高松市常磐町2-6-17 ☎ (0878)31-0881 FAX(0878)33-9839

## 岡田輝彦 公認会計士事務所

所長 岡田 輝彦

(高中44回卒)

☎03(3263)0856 (代表)

〒102 東京都千代田区麹町1丁目3番地 (麹町1丁目3番地ビル)

さまざまなニーズをソフトでささえ、ハードで応える

## 極東産業株式会社

取締役会長 中村文俊 (高中50回卒)

- 装置・機械 (渦過機・搅拌機・熱交換器) 本社 東京都港区新橋5-10-5
- 設備機器 (タンク・パイプ・伸縮継手等) ☎03-3433-4761
- 防蝕ライニング ■エンジニアリング・工事 青山分室・中部支店・鹿島営業所

技術は蓄積されて、

生かされる。

創業1933年・設立1944年

「高級建築の最前線」で

頑張っています。



## 岩本組

代表取締役 藤澤恒代

本社 〒114 東京都北区田端1丁目23番16号/電話 03-3823-3161(代)  
浦和支店 〒336 埼玉県浦和市別所7丁目3番2号/電話 048-862-3211(代)  
神奈川支店 〒251 神奈川県藤沢市川名1丁目10番-27/電話 0466-28-7621

## (財)社会経済生産性本部

〒150 東京都渋谷区渋谷3-1-1

☎ 03-3409-1111

## 南海プライウッド 株式会社

代表取締役 丸山 修 (高中45回卒)

本社●高松市松福町1丁目15番10号 ☎(0878)22-0656(ダイヤルイン)

## 祝 第13回東京玉翠会総会 高高昭和46年卒業同窓会

(代表幹事 山下 和彦)

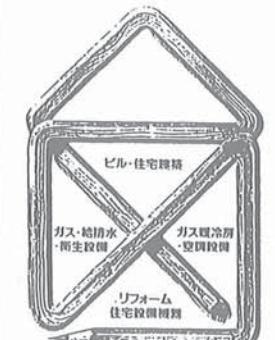
CO., LTD.  
総合建設業



石川肇久 (高高46年卒)

株式会社 エム・テック

本社/〒336 浦和市高砂2-3-18 間本ビル  
TEL048(833)2248 FAX048(833)3547



株式会社 関配  
KANPAI 取締役社長 牧野章夫  
(高高25年卒)

〒141 東京都品川区東五反田5-22-27  
☎03(3443)3311(代) FAX.03(3443)3020

いくつもの夢を  
さりげなく贈る。  
**三越ゆめカード。**

- お買物に便利なプリペイドカードです。
- カードを売場にご提示するだけでお買物ができます。
- カードの裏面に40回までお買物の残高が表示されます。

**MITSUKOSHI**  
日本橋 電話/03-3241-3311(大代表)

昭和42年卒 吉川 徹



**讃岐鐵工株式会社**

技術本部 〒160 東京都新宿区新宿2丁目1番1 (ラポートビアビル7階)  
東京事務所 TEL (03)3359-3560㈹・3359-6335 FAX (03)3359-3487

**株式会社 うどんの庄かな泉**

代表取締役副社長 中西正治 (昭和40年卒業)

総合管理本部 〒761 高松市勅使町田中212-1 電話(0878)68-0123(代) FAX(0878)66-6166

**イベントからクリエイトまで**

株式会社 プラス・エー  
代表取締役社長 青木英治 (S 42卒業)

Head office  
I-7-14 Imazato-cho  
Takamatsu-shi 760 Japan  
tel 0878-31-0901  
fax 0878-37-6744

Tokyo office  
AQ bldg.  
4-12-7 Minami-Aoyama  
Minato-ku Tokyo 107 Japan  
tel 03-5474-0921  
fax 03-5474-5416



# 前田勇税務会計事務所

税理士 前田 勇 (高高38年卒)

事務所 〒102 東京都千代田区九段北4丁目1番5号  
市ヶ谷法曹ビル807号  
電話 03(3265) 9471番(代)  
自宅 〒191 東京都日野市平山2丁目14番地6  
電話 0425(92) 7760番

**M-M&TC**

Marunishi Management and Tax Consultants

**株式会社 丸西経営会計**

丸西税理士事務所  
東京都葛飾区金町6丁目12番13号  
セザール金町304号  
郵便番号125

TEL.03-5699-3111  
FAX.03-5699-3112

丸西 和幸 (S 43卒)

★鋼製建具 ★ユニット フロアー ★黒板

 **株式会社 精五舎**

団子 泰 (高高46年卒)

本社 高松市天神前5番22号 ☎(0878)31-9111

**玉翠会の溜り場**

**スナック チロ**

(創業25年)  
例会日 每第2金曜日

新宿区四谷三栄町16  
TEL 3353-9847



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>珪素産業株式会社</b></p> <p>取締役社長 宗本徳禪<br/>(高中37回卒)</p> <p>東京都杉並区成田西1-17-8<br/>☎ 03 (3313) 6505</p>                                                                                                                                                                                                                           | <p>財団法人 全電通労働会館</p> <p>専務理事 久保醇治<br/>(高高27年卒)</p> <p>〒101 東京都千代田区神田駿河台3-6<br/>電話 (03)3219-2211<br/>FAX (03)3219-2219<br/>全電通本部 (03)3219-2111(代)<br/>内線 2281</p>                                                                                                                                                                                         |  <p>△ ロイヤルパークホテル高松</p> <p>〒760 高松市瓦町1-3-11 ☎(0878)23-2222(代)</p> <p>総支配人 小島英夫 (高高46年卒)</p> | <p>農林中金グループ</p> <p><b>永楽興業株式会社</b></p> <p>農林水産物・紙・OA機器・<br/>ゴルフ会員権販売、ビル総合管理等</p> <p>〒101 東京都千代田区神田小川町2-12<br/>TEL 03-5259-0711<br/>FAX 03-5259-0740</p> <p>代表取締役社長 佐藤哲男<br/>(昭和27年卒)</p> |
| <p><b>大西昭一郎法律事務所</b></p> <p>弁護士 大西昭一郎<br/>(高高33年卒)</p> <p>千代田区丸の内3-1-1 国際ビル727区<br/>☎ 03-3212-0841 (代表)</p>                                                                                                                                                                                                                 |  <p>株式会社エイデザインセンター<br/>〒116 東京都荒川区町屋1-4-9<br/>TEL:03-3809-0591 FAX:03-3895-5367</p> <p>代表取締役 井上榮 (高高33年卒)</p>  <p>INOUE 井上美術印刷株式会社<br/>〒116 東京都荒川区町屋1-4-9<br/>TEL:03-3819-0821(代)</p> | <p>整形外科</p> <p><b>河西病院</b></p> <p>河西 敏晴 (46年卒)</p> <p>高松市番町1-7-11<br/>TEL.0878-51-2666</p>                                                                                    | <p><b>小林医院</b></p> <p>近石 恵三 (46年卒)</p> <p>綾歌郡綾歌町岡田下500-1<br/>(電話) 0878(86)3038</p>                                                                                                       |
| <p><b>税理士 山口修事務所</b></p> <p>税理士 山口修<br/>(高高33年卒)</p> <p>事務所 東京都北区赤羽1-37-13<br/>城北ハイツ205<br/>☎ 03 (3903) 4111</p>                                                                                                                                                                                                            | <p>ひびき法律事務所</p> <p>弁護士 小倉良弘<br/>(高高39年卒)</p> <p>〒160 新宿区四谷2-2 四谷フジビル3階<br/>TEL 03-3355-2268<br/>FAX 03-3355-2308</p>                                                                                                                                                                                                                                    |  <p>神原薬業株式会社</p> <p>本社 〒761 高松市勅使町761-1<br/>電話 (0878)67-3333</p> <p>昭和31年卒 神原博</p>       | <p><b>吉川整形外科</b></p> <p>吉川定雄 (S22年卒)<br/>和子 (S31年卒)</p> <p>宇都宮市和泉ヶ丘1-15-21<br/>TEL 0286-61-1611</p>                                                                                      |
| <p><b>株式会社C.S.S技術開発</b></p> <p>代表取締役 高城雄三 (高高45年卒)</p> <p>◆営業内容 基準点測量、現況測量、出来形測量、現場測量<br/>測量コンピュータ販売、測量機器レンタル・販売</p> <p>本社 〒206 東京都多摩市乞田1251 サークビル<br/>TEL 0423-73-1292(代) FAX 0423-73-2330</p> <p>札幌営業所 〒064 札幌市中央区南十四条西6丁目 行啓通りビル<br/>TEL 011-511-2831 FAX 011-552-2141</p> <p>高松営業所 〒760 高松市勅使町1205 TEL 0878-65-3744</p> | <p>からすみ 珍味 かまぼこ 天ぷら<br/>天然車えび まな鰯の味噌漬<br/>鰯の浜焼<br/>吉内 KICHINAI<br/>株式会社吉内</p> <p>■常磐町店 〒760 高松市常磐町1-5-9<br/>(ゲイエ西口前)<br/>TEL.0878-62-0001 FAX.0878-37-6262</p> <p>■新北町店 〒760 高松市新北町14-33<br/>(マルヨセンター吉町店北200m)<br/>TEL.0878-62-0011 FAX.0878-37-6006</p>                                                                                                |                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                          |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>さぬきうどん・そば<br/>おりづる</p> <p>大林美佐江（昭和26年卒）</p> <p>吉祥寺駅「ロンロン」地下1F<br/>TEL 0422-22-7928</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p><b>株式会社 アンド・エム</b></p> <p>代表取締役 新居 昌子<br/>(高高 S53年卒)</p> <p>ランジェリー・ファンデーションの企画・デザイン・生産</p> <p>〒540 大阪市中央区内淡路町2丁目1-7-501<br/>TEL 06-944-9945<br/>FAX 06-944-9946</p> |
| <p><b>松井内科医院</b></p> <p>内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・神経内科・理学療法科</p> <p><b>医療法人 松井内科医院</b></p> <p>理事長 松井美紀夫（高高 S46年卒）<br/>裕 美（高高 S51年卒）<br/>(旧姓 小路)<br/>〒028-53 岩手県二戸郡一戸町一戸字本町58<br/>TEL 0195(33)2201</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <p><b>株設計・計画 高谷時彦事務所</b></p> <p>高 谷 時 彦（高高46年卒）<br/>文京区千駄木1-22-30 ヒルハウス401<br/>TEL (3823)3316 FAX (3823)3234</p>                                                       |
| <p><b>生フルーツアイス</b><br/>しょゆ豆アイス<br/><br/>ITALIAN GELATO<br/>ポボラーレ<br/>ボボラーレ</p> <p>アイスクリームFC店募集中<br/>本部 丸亀市田村町742-11<br/>TEL 0877(22)2184</p> <p>○高松サティイ店 高松市福岡町3丁目8 0878(26)4303<br/>○丸 亀 店 丸亀市中府町2丁目6-92-8 0877(24)2088<br/>○ゴールドタワー店 稲穂郡宇多津町浜1番丁8-1 0877(49)6822<br/>○坂出サティイ店 坂出市東町1丁目4-18 0877(46)3199<br/>○や し ま 店 高松市高松町3010-4 0878(43)5898<br/>○浅 野 店 香川郡香川町大字浅野544-1 0878(88)3105</p> | <p><b>高橋歯科医院</b></p> <p>〒196 東京都昭島市中神町1284-13<br/>PHONE/FAX 0425-41-0761<br/>(46年卒 旧姓長尾彰子)</p>                                                                         |

|                                                                                                                                                                                                             |                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <p>四国の玄関 高松<br/>屋島をのぞむ シーサイドコース</p> <p><b>高松パブリック ゴルフ コース</b></p> <p>高松市木太町4583 TEL 0878-34-1524(代)</p> <p><b>木太興産株式会社</b> 代表取締役 石橋 治<br/>(高高29年卒)</p>                                                      | <p>18ホールズ<br/>パー72</p>                              |
| <p>ソフトウェアの新世代を創造する<br/>—リサーチ&amp;ディベロップメント専門企業—</p> <p><b>ソフトウェアジェネレーション株</b></p> <p>代表取締役 本村 昭二（高高32年卒）<br/>〒102 千代田区富士見2-7-18 飯田橋ビル2号館<br/>TEL 03-3234-5638</p>                                           | <p>ソフトウェアの新世代を創造する<br/>—リサーチ&amp;ディベロップメント専門企業—</p> |
| <p><b>KOZAI</b></p> <p>建築設計・施工 株式会社</p> <p><b>香西工務店</b></p> <p>明日の郷土をつくる<br/>不動産の活用<br/>遊休地の利用</p> <p>代表取締役 香西幸夫（昭和41年卒）<br/>高松市室町1919の1 TEL (0878) 67-1875 (代表)<br/>FAX (0878) 67-1882</p>                 | <p>明日の郷土をつくる<br/>不動産の活用<br/>遊休地の利用</p>              |
| <p>信頼できる専任講師による少人数クラス編成の予備校</p> <p><b>理研英数学院</b></p> <p>学院長 齊藤記久子<br/>高松市瓦町2丁目10番地12 〒760 電話0878(34)0298</p>                                                                                                | <p>信頼できる専任講師による少人数クラス編成の予備校</p>                     |
| <p><b>城北建設株式会社</b></p> <p>土木・建築・設計・施工一式</p> <p>代表取締役 専務 細谷芳久<br/>本社／高松市郷東町796-122<br/>TEL 0878-81-5689 FAX 81-5464</p> <p><b>帝國製薬は新しい健康文化を創造します。</b></p> <p><b>帝國製薬株式会社</b></p> <p>本社/香川県大川郡大内町三本松567番地</p> | <p>土木・建築・設計・施工一式</p>                                |

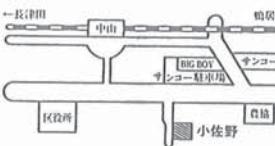
|                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>濱田法律事務所</b><br/>濱田 清 (高高32年卒)<br/>〒102 千代田区平河町1の8の2<br/>山京半蔵門パレスビル604<br/>TEL 03-3221-6261</p>                                                                                           | <p><b>宮 武 医 院</b><br/><b>宮 武 治 郎</b><br/>(高高32年卒)<br/>〒192 八王子市片倉町1221-26<br/>☎ 0426-36-8317</p>                                                                                                                                          |
| <p><b>活魚料理とうまい酒</b><br/>30名様迄の御宴会OK<br/><b>大衆割烹 ちよだ</b><br/>塩田俊治 (高高32年卒)<br/>多摩市永山駅前 ☎0423-75-9653</p>                                                                                        | <p><b>国華産業(株)(海運業)</b><br/>社長 植松 武彦 (S31卒)<br/>TEL 大阪本社 06-344-5626<br/>東京支店 03-3504-2606</p>                                                                                                                                             |
| <p> <b>立野省一法律事務所</b><br/>弁護士 立野省一 (高高41年卒)<br/>高松市番町1-10-1 日下ビル3F<br/>TEL (0878)61-1324 FAX (0878)61-8018</p> | <p> 43年卒 和泉克應<br/>株式会社和泉組<br/>〒157 東京都世田谷区千歳台3-11-7-101<br/>Phone 03-3484 Fax 03-3484-3443<br/>吉祥寺事務所<br/>〒177 東京都練馬区立野町21-5<br/>Phone 03-3594-7928</p> |
| <p><b>井上昭雄法律事務所</b><br/>弁護士 井上昭雄 (高高46年卒)<br/>高松市内町1番2号 佐々木ビル<br/>☎ (0878) 23-2030</p>                                                                                                         | <p>損害保険 生命保険 代理店<br/><b>有限会社 木内保険事務所</b><br/>木内 正夫 (高中50回卒)<br/>木内 泰宏 (46年卒) 社会保険労務士<br/>事務所 〒760 高松市茜町9-10<br/>TEL (0878)31-3133</p>                                                                                                     |
| <p><b>海部医院</b><br/>院長 海部泰夫<br/>(高高昭和42年卒)<br/>副院長 榎本充邦<br/>(高高昭和46年卒)<br/>高松市高松町2356 電話(0878)43-3666</p>                                                                                       | <p><b>コスモ石油特約店</b><br/><b>若宮産業(株)</b><br/>専務取締役 若宮達也 (高高46年卒)<br/>高松市朝日町4-14-1<br/>TEL 0878-51-4824</p>                                                                                                                                   |
| <p> <b>石田印刷有限会社</b><br/>香川県高松市香西本町269-11<br/>TEL (0878) 81-3863<br/>FAX (0878) 81-3886</p>                  | <p>建築金物・アルミ建材<br/>土木資材・住宅設備機器 <b>(有)太陽商会</b><br/>専務取締役 由佐紹二<br/>(高高46年卒)<br/>〒762 坂出市中央町8-23<br/>Phone. 0877(46)5839<br/>FAX. 0877(45)7084</p>                                                                                            |

|                                                                                                                  |                                                                                            |                                                                                                                 |                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>四国特產品<br/>民芸品</p>                                                                                             | <p><b>ひさ六</b><br/>香川県高松市片原町10-11<br/>TEL (0878)51-1563<br/>FAX (0878)51-1564</p>           | <p>司法書士<br/>塚田縁<br/>(昭和46年卒)</p>                                                                                | <p>教育書ならなんでもそろう<br/><b>学事出版</b><br/>〒101 東京都千代田区外神田2-2-3<br/>☎03-3255-5473 FAX03-5256-0538</p>             |
| <p><b>浅野塾</b><br/>屋島進学教室<br/>TEL0878-43-0596<br/>天神前教室<br/>TEL0878-35-5689<br/>高松市屋島西町1934-6<br/>浅野真弓 (46年卒)</p> | <p><b>川田木材(株)</b><br/>川田宏行 (46年卒)<br/>高松市林町1200-1<br/>TEL 0878-65-3616</p>                 | <p>内科・小児科<br/><b>間嶋医院</b><br/>院長 間嶋行造 (高高44年卒)<br/>名誉院長 間嶋禮次郎 (高中38回卒)<br/>香川県大川郡長尾町西955<br/>☎(0879)52-2007</p> | <p>◆整形外科・理学療法科◆<br/><b>くさか整形外科</b><br/>院長 日下治 (46年卒)<br/>〒722-02 尾道市美ノ郷町三成226-5<br/>TEL (0848) 48-4870</p> |
| <p><b>宮本耳鼻咽喉科医院</b><br/>院長 宮本永祥<br/>高松市花の宮町1-12-36<br/>TEL (0878)34-0666</p>                                     | <p><b>池谷皮膚科医院</b><br/>静岡県富士宮市中央町4-11<br/>TEL 0544-23-3339<br/>46年卒 旧3年3組<br/>池谷(旧長嶋)麻矢</p> | <p><b>和田酒店</b><br/>和田千昭 (高高46年卒)<br/>〒769-01 香川県綾歌郡国分寺町新居1674<br/>TEL 0878-74-0056</p>                          | <p><b>白井内科・小児科医院</b><br/>白井忠雄 (高高46年卒)<br/>〒769-01 香川県綾歌郡国分寺町新居440-23<br/>TEL 0878-74-2810</p>             |

|                                                                                                                                |                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 46年卒テニス部女子有志<br><br>小甲(赤川)・長島(喜来)<br>山内(竹内)・中村(新庄)<br>大美(樽井)・沢枝(藤沢)                                                            | ママコート・和装製品製造卸<br>若松繊維株式会社<br><br>代表取締役 植松周三(52年卒)<br>本郡三木町大字田中124-1<br>電話(0878)98-1531(代表)                                                |
| 服飾のロビー <b>たかむら</b><br><br>高松市丸亀町12-11<br>平成6年卒 中村誠吾<br>TEL 0878-21-4569                                                        | <室内装飾卸売><br>オリナス四国販売(株)<br>植田豊八郎(46年卒)<br>高松市屋島東町1095-312<br>TEL 0878-41-1088                                                             |
| 瀬戸内・高ねー海の幸<br><b>卯をじ</b><br><br>〒760 香川県高松市兵庫町10-7(リーガホテル北側)<br>TEL 0878(22)3222(代表) FAX 0878(23)1388<br>鯛・鮨の魚漬け・鯛の浜焼・からすみ・天ぷら | ツゲ医院<br>柘植司郎<br>(高高47年卒)<br><br>香川県高松市川部町1443-1<br>TEL 0878(85)1432                                                                       |
| パソコンのご用命は、是非当社まで<br>(PC'98, DOS/V, MAC他)<br>株式会社タイガー<br>竹添幸男(高高47年卒)<br>東京都港区虎ノ門1-3-21<br>TEL:03-3504-0423                     | 株式会社 インファー<br>YIENHUR CO., LTD.<br>(高高47年卒)<br>代表取締役 寺下隆<br>CAFE CAFE RESTAURANT SINCE 1988<br>5 POINTS 109-2 B2F<br>Phone 3477-8002      |
| 鶴屋 ぎんやばてい<br><br>古市としこ(21年卒) 古市哲也(48年卒)<br><br>〒760 四国・高松市花園町1-2-15<br>TEL(0878)62-2131(代) FAX(0878)31-7689                    | CREATIVE & PRODUCE<br><b>CHANCE</b><br>corporation<br><br>代表取締役 高嶋弘(昭和48年卒)<br><br>株式会社 チャンス<br>〒162新宿区岩戸町10松本ビル201号 TEL/FAX.03-3266-1384 |
| バッヂ・カップ・トロフィー・旗<br>有限伊藤久芳堂商会<br><br>高松市御坊町10-18 TEL (0878)51-3666(代)<br>高高48年卒 伊藤壽 高高57年卒 伊藤裕美(旧姓 中山)                          | 讃岐化学工業株式会社<br><br>代表取締役 杉山雅春(昭和48年卒)<br>取締役工場長 鈴木紘司(昭和38年卒)<br><br>本社・工場 〒760 高松市朝日町4丁目12-44<br>TEL 0878-51-8836<br>FAX 0878-51-8837      |

|                                                                                                                                 |                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 24年の信頼と実績が誇る<br>高松視力回復センター<br>藤川千容(高高48年卒)<br>高松市亀井町12-21<br>TEL 0878-34-1985                                                   | 家電販売・修理・電気・設備・空調工事<br>有限会社 <b>セモ</b> SEO DENKI<br>代表取締役 瀬尾勝己(48年卒)<br>〒761 高松市成合町516-1 TEL (0878)85-1389<br>FAX (0878)86-8162 |
| 本と画廊<br><b>みみやたけ書店</b><br>宮武規江(高高49年卒)<br>高松市丸亀町13-6<br>一階・二階 TEL(0878)51-2346代<br>FAX(0878)51-2386<br>地階 画廊喫茶 TEL(0878)51-2354 | 浜畑眼科医院<br>大田区大森中2-15-7-4F<br>TEL 03-3765-1311<br>浜畑和男<br>浜畑明子(S49年卒)                                                          |
| 49年卒業生の活躍をお祈りします。<br>久保歯科医院<br>久保謙二(昭和49年卒)<br>高松市屋島西町1454-1                                                                    | <b>TOKAI</b> 株式会社トーカイ<br>取締役管理本部長 大西敬<br>(昭和50年卒)                                                                             |
| (株)辰馬木材センター<br>(株)辰馬製材所<br>香川県高松市郷東町796-45<br>常務取締役 元山賢治<br>(昭和50年卒)                                                            | 弁護士 川崎達夫<br>(高高43年卒)<br>高松市亀岡町3番3号<br>事務所 〒(0878)31-3333 FAX (0878)31-8726<br>自宅 〒(0870)31-3131                               |
| 雨宮歯科医院<br>院長 雨宮高志(高高42年卒)<br>〒191 東京都日野市日野本町2-20-13<br>TEL 0425-84-3741                                                         | 河野法律事務所<br>弁護士 河野玄逸<br>(悦子)(高高43年卒)<br>〒107 東京都港区赤坂1丁目3番5号赤坂アビタシオンビル8階<br>TEL 03-3582-0621 FAX 03-3582-4879                   |
| 株式会社 カニワ トキヨ<br>代表取締役 岩井耀子<br>(高高42年卒)<br>東京都港区赤坂9-6-27 カーム乃木坂<br>TEL (03)3401-4509                                             | かまたクリニック<br>鎌田恵子(S41年卒)<br>〒270-01 千葉県流山市南流山3-16-1<br>(JR 武蔵野線南流山駅より 5分)<br>TEL 0471-59-6151                                  |

|                                                                                                                                     |                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>スパゲティー・オープン料理<br/>パークパスタ (PARK PASTA)</p> <p>大橋(十河)圭見(61年卒)<br/>大田区山王2-2-14 ☎ 3776-5596</p>                                      | <p><b>菊池眼科医院</b></p> <p>菊池 洋子 (S35年卒)</p> <p>八王子市子安町1-34-12<br/>TEL 0426-43-0325</p>                                                                       |
| <p><b>三田総合事務所</b></p> <p>司法書士 松井 名保美(高高49年卒)<br/>東京都港区芝5-30-1-407<br/>TEL 03-5484-0272<br/>FAX 03-5484-0273</p>                     | <p><b>名の光の家</b></p> <p>命名・縁談・四柱推命学研究</p> <p>東京店 ☎ 0473-53-5889<br/>浦安市日の出6-G-803</p> <p>アドバイザー 辻 友美子(高高37年卒)<br/>(旧名 山地徳美子)</p>                            |
| <p>香川県香川郡香南町由佐17番地1<br/><b>株式会社 日本ピックルス</b><br/>TEL (0878)79-3303㈹<br/>FAX (0878)79-3305</p> <p>細川 義典(昭和43年卒)<br/>細川 容子(昭和46年卒)</p> |  <p>幸せの輪をひろげる<br/>Electronics Newing<br/><b>EIKO</b><br/>佐藤義人 (46年卒)</p> |
| <p><b>村川司法書士合同事務所</b></p> <p>司法書士 村川 浩二 (40年卒)<br/>高松市高松町2589 (馬場先)<br/>TEL 0878-43-8668</p>                                        | <p><b>西原眼科医院</b></p> <p>西原 勝 (51年卒)<br/>香川郡香川町大野1325-1<br/>TEL 0878-85-5511</p>                                                                            |
| <p><b>多田商店</b></p> <p>多田 廣貴 (高高46年卒)<br/>〒760 高松市木太町9区553-2<br/>TEL 0878-67-5613</p>                                                | <p><b>岸上公認会計士事務所</b></p> <p>公認会計士 岸上 茂樹<br/>税理士 岸上 多恵子 (46年卒)<br/>普通寺市上吉田町6-7-8<br/>TEL 0877(62)2389</p>                                                   |
| <p><b>マスヤマビル</b></p> <p>樹山 雅信 (高高47年卒)<br/>〒760 高松市寿町2丁目3番9号<br/>TEL 0878-21-6616</p>                                               | <p><b>有限会社 光隆</b></p> <p>原 光 (46年卒)<br/>〒525 滋賀県草津市南笠町267-12<br/>TEL 0775-67-5267</p>                                                                      |

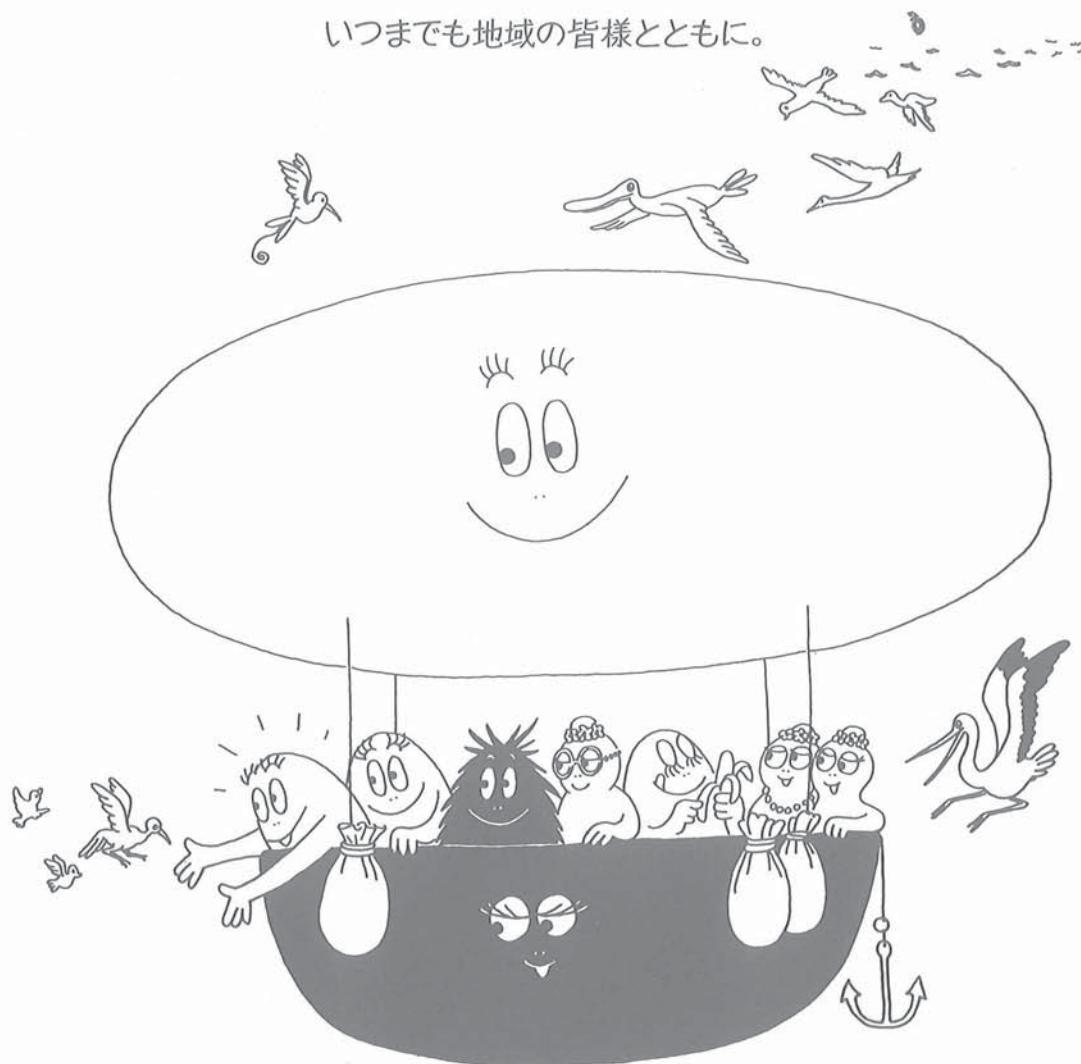
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>四国通商(株)</b></p> <p>取締役社長<br/>三野容志郎 (47年卒)</p> <p>高松市丸の内4-4 (通商ビル)<br/>電話 0878-51-0011 (代表)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p>手打うどん<br/>うどんすき<br/>季節の料理</p> <p><b>金比羅</b></p> <p>(七宝産業株式会社)<br/>浜松町店 京都府京都市浜松町3-1<br/>TEL 03-432-1047<br/>西船橋店 西武百貨店船橋店内</p> |
| <p><b>小佐野歯科医院</b></p> <p>小佐野 千重子 (45年卒)<br/>(旧姓 林)<br/>〒226 横浜市緑区中山町68-1<br/>TEL (045) 934-3003</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                   |
|  <p><b>桑島医院</b></p> <p>桑島 紀夫 (高高46年卒)<br/>〒761-22 香川県綾歌郡綾上町<br/>TEL 0878-78-2005</p>                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                   |
| <p><b>祝 第13回東京玉翠会</b></p> <p>46年卒<br/>関東在住女性有志</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                   |
| <p><b>Kosmo グループ</b></p> <p>株式会社 コスマテック<br/>株式会社 コスマ・テン<br/>株式会社 コスマ企画<br/>株式会社 東京コスマ不動産<br/><b>ADOMOC CORPORATION</b></p> <p>代表取締役 こもだ 薦田快公</p> <p>本社 〒160 東京都新宿区西新宿8-14-17 アルテール新宿ビル1112<br/>TEL 03-3360-4321㈹ FAX 03-3227-1117<br/>本社 〒107 東京都港区赤坂2-8-15 オリエントビル 305<br/>TEL 03-3588-8291㈹ FAX 03-3588-8292<br/>BRANCH 580 S.Douglas St. El Segundo, CA 90245 U.S.A.<br/>TEL 310-536-0214 FAX 310-536-0317</p> |                                                                                                                                   |
| <p>自費出版等 印刷のことなら お気軽に声をかけて下さい<br/>—自叙伝、社史等は原稿がなくても本になります—<br/>当社のスタッフが原稿作成時よりお手伝い</p> <p>印刷の総合センター 株式会社 三州社 ☎ 3433-1481<br/>〒105 東京都港区芝大門1-1-21<br/>井関賢治 (高高29年卒)</p>                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                   |

# BARBAPAPA

©1995 Annette Tison and Talus Taylor. All rights reserved. Licensed by Sony Plaza Co., Ltd., Japan.

ステキだな。  
人と自然の「ふれあい笑顔」があふれる街。

人と人、人と自然がふれあいながら、  
明日の夢を育ててゆく。  
そんな明日の街づくりへの歩みを  
いつまでも地域の皆様とともに。



いい出会い ふくらむ未来  
**百十四銀行**

本店 高松市亀井町5番地の1

東京支店 中央区日本橋3-8-2  
新宿支店 新宿区百人町2-1-2

青山支店 港区北青山3-5-12  
新川支店 中央区新川2-13-9

愛と信頼をお届けするカタログ販売のセシール

A black and white portrait of a woman with dark hair styled up, wearing a pearl necklace. She is smiling and looking directly at the camera. The background is a soft pink gradient.

株式会社セシール

本社  
〒760 高松市多賀町2丁目10番20号  
TEL (0878) 94-8888 代表 FAX (0878) 35-5535  
志度商品加工センター  
〒769-21 大川郡志度町鴨庄4259番地1  
TEL (0878) 94-5555 代表 FAX (0878) 94-1133

女優：工藤 夕貴



シャンデュクール そして、心が歌いだす

# Chant du Cœur

Bottle design by Angela Cummings   Fragrance by Edouard Fléchier   Produced by SHISEIDO